



兵庫県整形外科医会だより

Hyogo Clinical Orthopaedic Association

No.78

<http://hcoa.jp/>

巻頭言	会長就任のご挨拶 ……………	鄭 仁 秀 …	1	
新役員紹介	副会長に就任して -組織の力-	坂 田 敏 郎 …	4	
	副会長就任のご挨拶 ……………	渡 辺 康 司 …	5	
	副会長就任のご挨拶 ……………	川那辺 圭 一 …	5	
	会計理事就任にあたって ……………	青 木 康 夫 …	6	
	理事就任のご挨拶 ……………	出 田 富士夫 …	6	
	理事就任のご挨拶 ……………	市 橋 研 一 …	7	
	広報担当理事に就任して ……………	井 尻 慎一郎 …	7	
	新理事就任挨拶 ……………	大 谷 卓 弘 …	8	
	兵庫県整形外科医会理事に就任して ……………	葛 原 啓 …	9	
	自己紹介 ……………	辻 壽 …	9	
	新理事就任ご挨拶 ……………	山 根 敏 彦 …	10	
	JCOA理事に就任して ……………	山 下 仁 司 …	10	
	新入会員紹介	……………	厚 井 薫 …	14
		……………	石 山 照 二 …	14
……………		織 戸 弘 行 …	15	
……………		神 納 英 治 …	15	
……………		木 村 琢 也 …	16	
……………		黒 田 良 祐 …	16	
……………		武 富 雅 則 …	17	
……………		田 野 確 郎 …	18	
……………		長 尾 憲 孝 …	18	
……………		中 谷 徹 也 …	19	
……………		野 田 太 一 …	19	
……………		平 田 総一郎 …	20	
……………		福 島 久 徳 …	20	
……………		水 野 清 典 …	21	
……………	山 岸 範 明 …	21		
役員・委員名簿	平成21年度 兵庫県整形外科医会役員名簿 ……………		24	
	平成21年度 兵庫県整形外科医会各種委員会委員名簿 ……………		25	
	平成21年度 兵庫県整形外科医会地区委員名簿 ……………		26	
	平成21年度 整医協兵庫県支部役員名簿 ……………		26	
	平成21年度 兵庫県保険審査委員名簿 ……………		27	
情報システム委員会より	兵庫県整形外科医会の情報システム ……………		30	
	ウェブサイトとメーリングリストのごあんない ……………		35	
	整医協のごあんない ……………		36	
会員からの便り	新型インフルエンザの1週間 ……………	吉 岡 裕 樹 …	38	
	保険診療を巡る最近の情勢 ……………	杉 本 欣 也 …	40	

目次

ジョイント・ミーティング	静岡県・兵庫県整形外科医会 ジョイント・ミーティング …丸野博敏…	42
	静岡県・兵庫県整形外科医会 ジョイント・ミーティング 姫路城・書写山訪問記 ……小林紀郎…	43
	静岡県・兵庫県整形外科医会 ジョイント・ミーティング 親睦ゴルフ ……坂田敏郎…	44
ラジオ・新聞	平成20年～21年 ラジオ関西「みんなの健康相談」 ……	48
	平成20年～21年 神戸新聞「カルテQ&A」 ……	48
	平成20年10月4日 ……木村琢也…	49
	平成20年11月1日 ……小林紀郎…	49
	平成21年1月9日 ……藤岡宏幸…	50
	平成21年1月16日 ……福島久徳…	50
	平成21年4月10日 ……中野利彦…	51
	平成21年5月8日 ……原井薫…	52
講演・役員会・理事会など	西播磨整形外科医会学術講演会、第10回記念講演会のお知らせ ……	54
	第14回「骨と関節の日」市民公開講座 ……石田文夫…	55
	平成21年度 総会、第1回役員会、第1回学術講演会 ……	57
	特別講演Ⅰ「各種人工股関節の適応と成績」…大園健二…	58
	特別講演Ⅱ「上肢絞扼性神経障害の手術－適応と成績－」 …橋詰博行…	59
	平成21年度 第1回理事会 ……	61
	平成21年度 第2回役員会 ……	64
	平成21年度 第2回兵庫県整形外科医会学術講演会 ……	66
	特別講演Ⅰ「関節疾患や高齢者における歩行障害」 …平田総一郎…	66
	特別講演Ⅱ「明日はわが身の整形外科医事紛争」 …梁瀬義章…	67
	平成21年度 第2回理事会 ……	70
	平成20年度 第6回JCOA理事会および整医協執行委員会 ……	72
	平成21年度 第1回JCOA理事会および整医協執行委員会 ……	77
	平成21年度JCOA代議員会、総会 ……	82
	第53回JCOA近畿ブロック会 ……	84
	兵庫県整形外科医会・保険審査員懇談会 ……杉本欣也…	86
編集後記	……	87



会長就任のご挨拶

兵庫県整形外科医会 会長
鄭 仁 秀

川井和夫前会長の後を継ぎまして、今期より伝統あるこの兵庫県整形外科医会の会長職に就かせて頂きました事を、会員の先生方に謹んでご挨拶申し上げます。

武部恭一前々会長の時に理事になりまして、新入会や総務、発足したばかりの整医協担当を、そして川井会長の下で会計やセラピスト研修会担当、副会長と色々な仕事をさせて頂きました。力不足ながら何とかこれらの仕事をやってこられましたのも、会員の先生方のご協力を頂いた賜と心から感謝致しております。この紙面をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

本当に有り難うございました。

さて、いま日本はもちろん世界的な不況の中で、日本の医療状況は最も厳しい局面に突入したと思います。特に我々整形外科について言いますと、極度の抑圧の状態にあるのではないかと思われる程です。

会員の先生方も日頃の診療において、経済的にも然る事乍ら、ご自分達の力を発揮して診療活動を充分できない環境に、非常に苛立ちを覚えておられるとご推察申し上げます。

医療行政の不備から発した様々な問題を、いかにも我々医師に非があるが如き中傷と世論に対する誘導は我々の裁量権を無視した、ほどほど呆れる現状ではないでしょうか。

そもそも、医療行政に市場原理を当てはめる事自体がこの国の保険制度を歪め、今の医

療行政の混乱を来した元凶と考えられると想います。

その様な状況の中で、日本医師会はここ数年の診療報酬改定において我々整形外科に対して協力的だったとは決して言えません。

我々も歴とした日本医師会の一員であります。

その日本医師会に我々整形外科医に対する組織的な擁護と協力を望んで止みません。さらに、オンライン請求の問題についても「人権蹂躪」にも似た状況を許すのではなく、我々会員の立場でしっかりと主張して頂きたいものです。

JCOA（日本臨床整形外科学会）は平成14年10月、各県代表者会議の決議をもって、整医協を立ち上げました。我々の生き残りをかけて発足したもので、これまで運動器リハビリ数制限緩和や慢性疼痛疾患管理料の存続など数々の成果を上げて参りました。我々独自のロビー活動が必要だという事が示された形になりましたが、これからまだまだ我々の力を結集していかなければなりません。その為にも当医会活動の中で要になりますのが会員親睦でありましょう。現在、当医会は全国で3～4番目にJCOA会員数の多い県でございます。まとまりが必要な事は論をまたないもので、会員数を増やして組織としての力をさらに強くしていきたいと思っております。

そして、今のような厳しい状況に至っても

巻頭言 ●

我々としては肅々と「尊厳ある我々の整形外科医療」をしていかなければなりません。その為に、最も大事なのが学術講演会です。

現在、年五回をめどに学術講演会を開催しておりますが、場合によっては回数を増やす必要もあり、内容も会員の先生方のご希望をできるだけ反映していかなければならないと考えております。

また、第25回JCOA学会（平成24年）はJCOA近畿ブロック主催で神戸で開催される事が決まっております。兵庫県はその中でも最も大事な学術を担当する事になりました。演題の数や内容を充実したものにしなければなりません。先生方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

我々の厳しい環境要因になっているもう一つの問題は、柔整に関するものです。その数は年々増えつつあり、年3,000億円を超える医療費を「食っている」現状があります。医

療まがい行為に支払われていると言うことであれば、不当なものは是正して貰わなければならないと、マスコミなどを通じて強く訴えていかなければなりません。

日本の医療は極めて深刻な状況に追い込まれてしまったと言えますが、無駄を多く抱えた行政を考えますと、「医療費が増えて何が悪い」と叫びたくさえなります。

国際的に医療費を対GDP（国民総生産）で見ても、日本の医療費は先進国の中でもかなり低水準（16～17位）にある現状は、医療行政の根本的な何かが間違っているとしか考えられません。

以上、少し過激な表現もあったかと思いますが、私たちの主張をもっと強く訴えていくためには私たちの力をしっかりと結集していかなければなりません。そのためにも、医会活動と整医協活動への先生方のご協力を呉々も宜しくお願い申し上げます。



新 役 員 紹 介





副会長に就任して —組織の力—

坂田整形外科リハビリテーション（加古川市）
坂田 敏郎

開業して10年、広報、渉外、親睦理事を担当してわずか5年ですが、今回副会長をお受けしました。鄭新会長を補佐し、神戸大学同門会とのパイプ役と自覚しております。兵庫県整形外科医会も昨年創立35周年を経て会員数も約460名と大きな組織になりました。諸先輩方の努力の積み重ねと敬服し、感謝しております。今後この会を更に発展させ、全国的にも県医師会内においても存在感のある会にするには18ある委員会の目的、活動方針をさらに明確にして行くことだと思います。渡辺、川那辺副会長が近畿ブロック、学術、親睦、各種委員会を担当され、私は総務、保険、整医協を担当させていただきます。総務委員会の役割としては、会の雑事全般ですが、会則、細則の再点検、委員会の新設、変更、会員の慶弔時の対応、共催会社との折衝（講演会時の受付、学術委員会との協力）、協力をお願いする大学教室との対応などでしょうか。保険部門は、診療報酬にかかわる重要なものですが、担当理事の杉本先生、原田先生、

松原先生そして自賠償担当の理事の先生方の指導、アドバイスをいただきながら、地域医療中での整形外科が運動器治療のスペシャリストとして認められ、且つ報酬もそれに見合うものとして外保連、JCOA、県医師会そして日医に働きかけが出来るように整医協の活動とも協力しながらの動きになると思います。整医協は医会とは独立した組織ですが、医会とは表裏一体の組織です。会員の多くは政治、ロビー活動は煩わしい、興味ないとは思いますが、黙っていても諸事進みませんし、決まりません。強欲なことを要求するのでもありませんが、整形外科の担う役割相応の診療点数を付けてもらいましょう。そのためにはたゆまぬ活動が必要であり、資金が必要です。会費を納めていただくことがその年の会員資格になりますので、案内が来た時はすみやかに入会をお願いします。

これから2年間、会員の皆様方の御協力を心よりお願いして、挨拶とさせていただきます。



副会長就任のご挨拶

済生会兵庫県病院 整形外科
副院長 渡 辺 康 司

この度副会長職を仰せつかりました。前任の川井会長の下で勤務医部会担当の理事として4年間やって参りましたが、ほとんど仕事らしきことをせず、申し訳なく思っております。しかしながら、できるだけ理事会には出席し、理事の皆様の活発な討議に参加させて頂きました。

この度は、近畿ブロックなどの担当になっています。ほとんどが開業の先生が中心の会合であり、不安な面も多いですが、一人の整形外科医の立場として、また一人の勤務医の立場として、意見を述べていきたいと思っています。

小児科、産婦人科において救急医療の問題が指摘されていますが、整形外科救急においても問題がないとはいえません。先日（祭日）も、三木市にて開業されているY先生より救急処置を必要とする患者さんの相談が自宅に

電話でありました。当日はY先生の力になれませんでした。県内での整形外科救急診療が、開業医と勤務医との連携（病診連携）、勤務医間の連携（病病連携）によって、患者さんに満足していただける、また救急を担当する整形外科医師にも過大な負担をかけない仕組みで行われることが望まれます。

兵庫県整形外科医会は、他府県と異なり、開業医と勤務医の両方の先生が会員になっておられます。整形外科医会では、整医協（整形外科医政協議会）活動などを通じて、医療における整形外科の重要性や必要性などを訴えけるとともに、当会の特徴を活かした独自の県内での整形外科救急体制を構築することも重要ではと考えます。

会員の先生方のご指導とご協力を何卒よろしくお願いいたします。



副会長就任のご挨拶

神戸市立医療センター中央市民病院 整形外科
部長 川那辺 圭 一

笠井隆一部長の後任として昨年4月より神戸市立医療センター中央市民病院に赴任しておりますがこのたび副会長職を仰せつかりました。わからないことばかりで先生方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

私の役目は開業の先生方とわれわれ勤務医、また勤務医同士の連携を密にしていくことだと思っております。勤務医を取り巻く厳しい状況が続く中、公立病院の統廃合が実施・計画されているところも多いと聞いております。兵庫県においても状況は変わらず、地方の医師不足による地域格差や救急患者のタイ回

しが問題となっています。神戸中央市民にも東は大阪市内や尼崎から、西は赤穂や加古川からも頸椎損傷や多発外傷が送られてきます。この病院でなければ、と思われる状態でないこともしばしばで長時間運ばれてくる患者さんにとっては大変迷惑で、ときには状態が悪化することもあるだろうと思います。救急患者の受け入れ状況についてその情報を皆様と共有し、出来るだけ患者さんの負担にならないような受け入れ態勢を構築することが重要だと思います。



会計理事就任にあたって

青木外科整形外科（尼崎市）
青木 康 夫

本年1月より会計理事の重責を仰せつかることになりました青木でございます。入会後初の役職が会計という重責に戸惑いを感じている次第ですが、皆様の大切な会費をお預かりし、明朗会計の経理運営に応えたく、微力ではございますが前任の鄭会長にご指導を仰ぎながら誠心誠意職務に尽力させていただく覚悟でございます。何分不慣れなため皆様に多々ご迷惑をおかけすることかと存じますが、何卒ご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

会計業務の他、年2回の運動器リハビリテー

ションセラピスト研修会の開催を坂田副会長のご協力を得て行って参ります。今年度の第1回は7月26日に兵庫県医師会館での開催が決定しており、第2回も12月に同会場で予定いたしております。会員医療機関の職員の皆様の多数のご参加をお願い申し上げますとともに、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当会のさらなる発展と会員の皆様のご健勝をお祈りし、就任のご挨拶とさせていただきます。



理事就任のご挨拶

いずた整形外科クリニック（神戸市北区）

出田 富士夫

京都府立医大54年卒業。社会保険神戸中央病院に約10年勤務した後、平成8年に神戸市北区で開業しました。この度学校保健担当理事の職を承りました。ご存じの方もおられるかと思いますが、勤務医時代から「兵庫県ドクターズ」というバスケットボールのクラブチームに所属し、神戸大学はじめ各大学の先生と仲良きさせていただきました。その関係で地域のミニバスケットボールのコーチをし

たり、大会のフロアドクターをしたり、学校保健やスポーツと少しかかわりのあることをしてきました。50を過ぎて体力が落ちたため最近ではゴルフが主になり、バスケットの方からは遠のいているのですが、大学の先輩である鄭先生のもとで会員の皆様に役立つ仕事でできましたらと思います。よろしく願います。



理事就任のご挨拶

市橋クリニック（神戸市東灘区）

市橋 研一

このたびは理事に推薦いただき大変光栄に存じます。

私は、二代目として平成4年に開業以来、地域医療に携わる傍ら、平成11年より本業以外に介護関連の事業を手がけており、現在は在宅支援を目指した整形外科有床診療所として、医療と介護の連携を図りながら、様々な臨床の勉強をさせていただいております。

平成18年、武部、川井両先生のご推薦を頂き、JCOA有床診療所部会WG委員として中央に派遣いただき、20年からは同部会近畿地区幹事を拝命し、同部会近畿ブロック会議をはじめ開催することができました。

有床診療所はわが国固有の文化を背景とした制度であり、地域医療にはなくてはならない存在でありながら、激変する医療状況の中

では、長期低落傾向を余儀なくされており、診療報酬の待遇改善を図らない限り、徐々に消えつつある運命にあります。この3年間に兵庫県でも4施設が廃業しています。

近畿圏のみでは総施設数が70前後で少なく、中部・北陸地区と合同の活動企画を現在進行中で、九州・中国・四国の盛んな地域をバックアップする体制に盛り上げ、全国の意識高揚に少しでも役に立てるよう努力したいと思っております。

このたび、有床診療所問題に造詣の深い、鄭会長をはじめ諸先生方のご推薦をいただき、若輩者ではありますが、皆様のご指導をいただきながら活動を展開していきたいと思っております。どうぞよろしくご願い申し上げます。



広報担当理事に就任して

井尻整形外科（神戸市垂水区）
井 尻 慎一郎

このたび、平成21年1月より兵庫県整形外科医会の広報担当理事を拝命した井尻です。主に兵庫県整形外科医会だよりの編集・発刊を担当させていただきます。

昭和57年に大阪医大を卒業し、大阪医大の一般・消化器外科学教室に入局、昭和59年京都大学整形外科学教室に入局後、愛媛県立中央病院、兵庫県立塚口病院、滋賀県高島総合病院、京都大学大学院、神戸市立医療センター中央市民病院を経て、平成12年から神戸市垂水区で開業しています。

前広報担当理事の塚西先生が今までしっかりと医会だよりを継続して発刊されてきた後に、右も左もわからない私が同じように医会だよりを発刊していけるかどうかわかりませんが、塚西先生と広報委員会委員長の吉岡先

生にご指導を受けつつ、頑張っていく所存です。いたらない点など多々あると思いますが、皆様方にもご指導とご鞭撻をよろしく願いたします。

病院整形外科の順次紹介やある話題についての座談会など幾つかの企画を広報委員会で考えていますが、ぜひとも、会員の先生方からの自由なご意見をいただきたく思います。エッセイでも、意見でも、何かありましたらご投稿をお願いいたします。匿名で投稿希望の場合でも、内容が他人の誹謗・中傷などでなければ、検討させていただきます。また、医会だよりにそのものに対するご意見・ご要望などありましたら、遠慮なくお伝えください。よろしく願いたします。



新理事就任挨拶

大谷整形外科クリニック（芦屋市）
大 谷 卓 弘

このたび、新理事に御推挙いただきました大谷です。

平成6年に、JR芦屋駅北側ラポルテ北館で開業いたしまして、今年で14年となります。開業して3ヶ月で、阪神淡路大震災があり、自宅、クリニックとも崩壊しました。しばらくは、クリニックでは診療ができず近くの救

護所で診察をしておりました。

その時、芦屋市医師会の先生方にお世話になり、医療のチームワークの重要性を実感し、その後、市医師会救急担当として芦屋市の救急医療のお手伝いをしておりました。また、整形外科医会にも入会させていただき、新入会委員としてお世話になっておりました。

今回の新理事の担当は、医療情報システム、新入会、学術で主担当は医療情報システムです。昨今、インターネットなどを通してさまざまな情報が飛び交っており、正確な情報をいかに早く知る事できるかが重要となっています。医療情報も同様であります。メーリングリストなどで会員の皆様の情報交換がスムーズにできるように、また、医会のホームページなどで一般の方々への情報発信が効率よくできるように医療情報システム委員会にて検討していきたいと考えます。

医療分野でもIT化が急速に進んでおり、電子カルテ、レントゲンフィルムレス、また

数年後にはレセプトのオンライン化が予定されておりますので、これらについても検討したいと思えます。

また、日本医師会が開発したORCAに関してですが、このORCAの目的は会員に安価なレセコンを提供する事だけが目的ではなく、医療政策への提案のためのORCAによる医療情報収集であります。このORCAプロジェクトに関しても、普及に努めて参りたいと考えます。

今後とも、皆様のご指導の下、医会の為に頑張っていきたいと思えますのでよろしくお願い申し上げます。



兵庫県整形外科医会理事に就任して

くずはら整形外科（神戸市灘区）
葛原 啓

このたび歴史ある兵庫県整形外科医会の理事という大役を受け、十分お役に立てるかわかりませんが精一杯整形外科の未来のために働きたいと思えます。

僕の経歴は昭和51年に兵庫県立西宮高校を卒業し、昭和57年に京都府立医科大学卒業、同年同大学整形外科教室に入局。2年の大学病院での研修医生活の後、大学院（病理学教室）で4年間の研究生活を送りました。大学院卒業後は京都第一赤十字病院、神戸海岸病院勤務を経て灘区でくずはら整形外科を平成6年に開業いたしました。

現在の公職としては、JCOA社会保険等委

員会委員、兵庫県医師会共済常任委員、神戸市医師会代議員・経理常任委員、灘区医師会理事、支払基金審査委員などがあります。ちょっと抱え込みすぎかなと思えますので会員の皆様で代わっていただける方がありましたら是非立候補お願いします。

趣味は、30年来修行しているゴルフと2年ほど前から50の手習いで始めたサックスおよび夜のクラブ活動です。ゴルフはこの会にも会員が多くいらっしゃる西宮カントリーをホームコースとしております。お酒も好きなので夜の三宮でお遊びの際は誘ってください。



自 己 紹 介

辻整形外科医院（神戸市灘区）
辻 壽

今回、広報・渉外担当の理事として就任致しました。役割は対外広報として、ラジオ関西「みんなの健康相談」と神戸新聞「カルテQ&A」に出された一般市民よりの整形外科疾患についての質問・相談を、兵庫県医師会を通じて兵庫県整形外科医会に依頼される内容に対して会員の先生方をお願いしてお答えしてもらうという役目です。先生方の臨床の得意分野を把握している訳でもなく、いろいろご迷惑をおかけするかもしれませんが、お

願いした際はよろしくお願ひ申し上げます。個人的には神戸市灘区で開業しております。開業8年で、開業以来日々小泉改革に始まった社会保障費の削減やリーマンショックなどによる景気後退を実感し、何時か良くなる時もあるだろうという切ない思いを持ちながら地域医療、地区医師会活動に貢献しているつもりでございます。任期の期間よろしくお願ひ申し上げます。



新理事就任ご挨拶

山根整形外科・外科（尼崎市）
山 根 敏 彦

今期新しく理事を拝命しました。担当は、医療問題周辺、情報システム、総務です。JCOAでは、医療システム委員会副委員長を拝命しています。

以前に兵庫県医師会報に「医療類似行為」に関して投稿したので、2年前に川井和夫前会長からお電話をいただき、JCOA医療システム委員会委員の依頼がありました。兵庫県からの推薦であるが、近畿ブロックから一人だけなので選出されないかもしれないとのこと安易にお引受けしました。吉良貞伸先生が前JCOA理事長であったこともあり、見事に医療システム委員に任命されました。その流れもあり、今回理事になったと思っています。

約3,000億円（推計）とも言われている「接骨院の不正請求」がなくなれば、社会保障費毎年2,200億円削減など必要ありません。大切な医療費が、詐欺行為によって搾取されています。私たち整形外科だけの問題ではなく、日本の医療全体の大問題です。最近ではマスコミで取り上げられ、日医もやっと問題視してくれるようになりました。兵庫県整形外科医会の先生方のご意見も聞きながら中央へ訴えていこうと思います。

兵庫県医師会、尼崎市医師会の役職もあり、どれだけ兵庫県整形外科医会に貢献できるかわかりませんが、微力ながら鄭執行部を支えていこうと思います。



JCOA理事に就任して

やました整形外科（加古川市）
山下 仁 司

2008年7月より、JCOA地区理事として仕事をさせていただいております。川井前会長やHCOA理事の皆様のご推挙を受け就任いたしました。何の知識も準備もなかった為、戸惑いながら半年間過ぎました。前JCOA理事長の吉良先生からも、大変だが頑張るよよにとの激励を頂きましたが、本当の大変さが、身にしみてわかってきました。改めて、長い間JCOAのお仕事をしていただいた吉良先生には、「ご苦労様でした」と御礼申し上げます。

JCOAでは、自賠労災委員会とIT戦略委員会と医業経営委員会の担当理事となりました。JCOA委員会には、兵庫県からも、市橋先生、山根先生、葛原先生、赤松先生がでておられますので、協力して皆様方にすばやい情報伝達ができるように、努力してまいりたいと思っております。

今、JCOA理事会では、法人化問題が継続して審議されています。JCOAが学会となる以前にも中間法人にするかという議論があったとのことですが、ご存知のように、今回、公益法人法・認定法の改訂に伴い、公益法人となる方がよいのか、一般法人の方がよいのか、はたまたこのままがよいのかなどが、検討されています。近いうちに、方向性が決まるとは思いますが、皆さん方のご意見があれば、お聞かせいただければ幸いです。

又、3年後の平成24年には、JCOA学術集会を近畿ブロックで行なうことが決まりました。会長は、近畿ブロック会会長の滋賀の西岡淳一先生で、会場が地元、神戸国際会議場と決まり、HCOA会長の鄭先生が、学術担当と決まっております。この学術集会を盛り上げるために、皆様方の温かいご支援をよろしく願い申し上げます。

最後に、整形外科医政協議会のことを少しお願いしたいと思っております。今年は介護保険改定の年で、すでに点数などは発表されておりますが、来年には、医療保険改定があります。様々な噂は出ていますが、整形外科に通院されておられる患者さんにとって、不便になるような改定とならないよう、いろんな面での働きかけが必要です。日本医師会・医師連盟任せですと、整形外科にとって細かい部分への配慮に欠けるところもでてきます。その為にも、整医協の活動は、大変重要です。兵庫県でも、組織の拡大の努力はしていますが、まだ、入会率が少ないようですので、ぜひ皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

私自身が、役不足、力不足であることは十分認識しておりますが、皆様方のご協力をいただき、2年間の任期を、瀬一杯頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申しあげまして、就任の挨拶とさせていただきます。



新入会員紹介



新入会の先生方です。どうぞ宜しくお願い致します。

(敬称略・五十音順)



厚 井 薫 (あつい かおる)

兵庫医科大学 昭和56年卒

あつい整形外科・リウマチ科

〒651-2211 神戸市西区押部谷町栄328

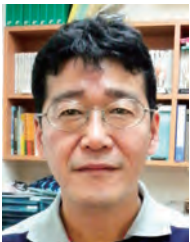
T E L : 078-998-2217 F A X : 078-998-2301

このたび、10年間、この地で頑張ってきた佐藤進先生が体調を崩されたため、医療法人を継承し、新たに整形外科・リウマチ科として1月より神戸市西区押部谷町で開業いたしました。

現在までに兵庫医大講師、松原メイフラワー病院副院長として、多くのリウマチ患者に携わってまいりました。その中で2003年に登場した生物学的製剤はリウマチ治療に劇的な変

化を起こし、難治性患者に大きな福音をもたらしてきております。これらを用い、今まで携わってきたリウマチ治療の経験を地域の患者に貢献できればと考えております。

医療情勢の厳しい中、50歳を過ぎて開業することに抵抗もありましたが、ゆっくりと患者さんと向き合って診療を続けていく所存です。諸先生方にはこれからもご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



石 山 照 二 (いしやま しょうじ)

大阪大学医学部 昭和61年卒

石山整形外科

〒662-0841 西宮市両度町 6-22 ベルシャイン両度103号

T E L : 0798-68-1800 F A X : 0798-68-1880

この度、兵庫県整形外科医会に入会いたしました石山です。24年の勤務医生活も終了し、昨年4月より、西宮の両度町に開業しています。勤務医のころは関節外科の手術を主に行っていましたが、開業してからは全ての分野に

おいて治療を行っておりややまだ不慣れな面も多々ある次第です。今後も何かとお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



織戸 弘行 (おりと ひろゆき)

三重大学 昭和63年卒

整形外科・リウマチ科 夢愛クリニック

〒673-0551 三木市志染町西自由が丘1丁目840 サンテラス志染1F

T E L : 0794-84-3739 F A X : 0794-84-3723

兵庫県整形外科医会の皆様、はじめまして。三木市の神戸電鉄志染駅前前で開業しております夢愛クリニックの織戸弘行と申します。

昭和63年に三重大学医学部を卒業し、同年に大阪大学整形外科に入局致しました。約20年間、阪大関連病院勤務（最後は西宮市立中央病院）を経て整形外科・リウマチ科 夢愛クリニックを開業致しました。

専門の関節外科に限らず今後はこの兵庫県

整形外科医会の皆様よりアドバイスを頂きながら、整形外科全般にわたり地域医療にお役に立てるように努力していきたいと思っております。

学生時代からテニス部に所属しておりました、現在もテニスをはじめ、ゴルフ、鮎釣り（夏季限定）で体力維持を図っておりますので、今後この方面についてもお誘い頂ければ幸いです。

これからもよろしくお願い致します。



神納 英治 (かんの えいじ)

神戸大学 昭和54年卒

かんの整形外科

〒655-0893 神戸市垂水区日向2丁目1-4-102

T E L : 078-708-1232 F A X : 078-708-1103

平成10年8月1日に、三木市の服部病院から、垂水区の佐野病院に転勤し、10年8か月勤務いたしました。佐野病院では、この間に、2,200人の入院患者を持ち、960件の手術を執刀いたしました。

垂水区は、人口22万人で、高齢化が進んでおり、また、老健、特養、有料老人ホームなどが増えたこともあり、高齢者の転倒による骨折の多い地域です。

佐野病院では、脊椎圧迫骨折で動けなくなった患者様には、ある期間入院していただき、コルセットを作成し、歩行等のリハビリテーションを行いました。また、大腿骨近位部骨折の患者様で、それまで歩行されていた方なら、たとえば、90歳を超えていても、可能な限

り、手術を行いました。人工骨頭置換術、ガンマネイルとも、手術の翌日から、車椅子でリハビリテーションを開始し、なるべく早期に施設やご自宅に帰れるようにと努めました。高齢で、術直後に認知症が進んでも、歩行練習をしているうちに、もとの状態に回復されるケースも何度も経験いたしました。

このような、高齢者の整形外科疾患の治療に従事できたことは、ひとえにご紹介いただいた先生方のおかげであり、先生方には、本当に感謝いたしております。ありがとうございました。

さて、この度、平成21年3月末で病院を退職し、4月1日に、垂水区役所の北側で、整形外科診療所を開院いたしました。垂水駅周

新入会員紹介 ●

辺は、昔ながらの市場のある古い町と、新しい街づくりによるビル群が融合した、若い人も高齢者もいっしょに生活できる明るく楽しい地域です。

これからは、より地域に密着した診療を目指しておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

近況報告ですが、開業してからは、毎週土

曜日に診療していますので、趣味のスキューバダイビングには、なかなか行くことができません。そのかわりに、日曜日ごとに甲子園浜に出かけ、昔を思い出しながらボードセリング（ウインドサーフィン）をやっています。

浜には、おじさん（おじいさんかな）サーファーも多くて、みなさん楽しく遊んでおられます。



木村 琢也（きむら たくや）

神戸大学 昭和63年卒

きむらたくや整形外科クリニック

〒661-0026 尼崎市水堂町1-3-1

T E L : 06-6438-1205 F A X : 06-6438-1271

平成19年7月より産婦人科医院を開業していた父の後を引き継いで、尼崎市のJR立花駅近くに開業いたしました。

開業後ほぼ2年が経過しましたが、医業経営はなかなか難しいもので日々苦勞しております。今後ますます会員の皆様のご指導を頂かねばならぬことあるかと存じます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

（略歴）

神戸大学医学部を卒業後、同大学整形外科教室に入局。

平成6年、大学院修了後に甲南病院整形外科にて約5年間、主に脊椎疾患・関節リウマチ・股関節疾患・外傷を中心に診療を行う。平成10年秋から、兵庫県立のじぎく療育センターにて8年間小児整形診療に従事しました。特に脊柱側弯症治療、先天疾患の治療、成長期のスポーツ障害治療、障害児（者）療育などの経験を積みました。平成19年7月開業。



黒田 良祐（くろだ りょうすけ）（勤務医会員）

神戸大学医学部 平成2年卒

神戸大学医学部附属病院 整形外科

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-2

T E L : 078-382-5985 F A X : 078-351-6944

このたび兵庫県整形外科医会へ入会させていただきました黒田良祐と申します。神戸大学卒業後6年間の整形外科レジデント研修を

修了し、約4年間アメリカでの整形外科基礎研究の機会をいただき、スポーツ医学・軟骨再生の研究を行ってまいりました。現在はス

スポーツ傷害・膝関節疾患を専門とし、全国レベルの競技選手、プロスポーツ選手の治療も積極的に行っております。また研究分野においても骨・軟骨・靭帯の再生医療を中心に、早期の臨床応用を目指したトランスレーショ

ナルリサーチに取り組んでおります。微力ながら兵庫県整形外科医会の発展に、そして多くの患者様の治療に貢献できるよう努力する所存であります。皆様のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



武 富 雅 則 (たけとみ まさのり) (勤務医会員)

滋賀医科大学 平成3年卒

神鋼会 神鋼病院 整形外科 医長

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47

T E L : 078-261-6711 F A X : 078-261-6729

平素より各先生方に御高配賜り有り難うございます。神鋼病院で2007年4月より勤務させて頂いている武富雅則です。このたび、兵庫整形外科医会に入会ご承認頂き有り難うございました。私自身紹介ができるほど物事に長けていませんので神鋼病院の整形外科について簡単に紹介をさせていただきます。

現在6人体制で診療に当たっています。外来は、毎日初診、再診とも行っています。外来では特に関節リウマチの専門外来を毎木曜日に開設し、コントロール不十分な症例には生物的製剤を積極的に導入しています。生物的製剤は高額医療が問題ですが、福祉医療費助成、身体障害者、健康保険組合よりの補助等を考慮してできるだけ患者様の負担にならないように心がけています。また合併症が多く投薬不可能な症例に対してはLCAPも導入しています。もしMTXで効果不十分な症例、合併症で投薬困難な症例がありましたら御紹介お願い致します。

手術日は、原則3回/週です。昨年手術

実績は480例で内訳は外傷が2/3慢性疾患が1/3となっています。2009年上半年は4月から手術件数が増えた事もあり、外傷と慢性疾患が半分ずつになっています。高齢者の骨折、特に大腿骨頸部骨折は、合併症防止、機能回復を円滑に進めるため入院後3日以内に手術を施行、早期にリハビリを行っています。また昨年より近隣の病院の御協力を得て地域連携パスを導入し、抜糸後合併症がない場合、早期に連携病院に転院して頂きリハビリを集中的に行うことによって1日でも早い社会復帰を目指しています。

最近人工骨や自家骨だけでは再建できない骨欠損が大きい人工関節の再々置換術症例も「骨バンク」により容易に手術ができるようになりました。

以上簡単ではありますが、当院整形外科について御案内させて頂きました。まだまだ未熟者ですが、引き続き皆様より御指導御鞭撻よろしくお願い致します。



田 野 確 郎 (でんの かくろう) (勤務医会員)

大阪大学 平成元年卒

関西労災病院 整形外科

〒660-8511 尼崎市稲葉荘 3-1-69

T E L : 06-6416-1221 F A X : 06-6416-8016

このたび兵庫県整形外科医会に入会させて頂きました、関西労災病院の田野と申します。平成元年に大阪大学卒業し、関連病院等勤務ののち8年前より関西労災病院に勤務しております。当科は関節外科(股関節・膝関節)、脊椎外科、上肢の外科、スポーツ整形外科(主に膝、足関節障害)の4グループで活動しており、小生は上肢の外科を担当しており

ます。上肢の外科グループは3名で診療を行っており、腕神経叢から指尖部に至る外傷、変性疾患、スポーツ障害、先天異常等、幅広く扱っておりますので、いろいろご相談頂ければと存じます。また上肢の小児外傷などの緊急を要する症例に関しましても、ご紹介頂ければ随時対応致します。今後ともよろしくお願い申し上げます。



長 尾 憲 孝 (ながお のりたか)

宮崎医科大学(現・宮崎大学)平成元年卒

ながお整形外科

〒679-1135 多可郡多可町中区安坂71-1

T E L : 0795-32-5100 F A X : 0795-32-5101

この度、兵庫県整形外科医会に入会させていただきました。よろしく願いいたします。

平成元年に宮崎医科大学(現・宮崎大学)を卒業し、神戸大学整形外科に入局いたしました。レジデントとして大学病院をはじめ、関連病院で研修をさせていただき、平成6年より中町赤十字病院へ勤務し、西脇市立西脇病院を経て、平成20年3月に「ながお整形外科」を開院させていただきました。

長い間勤務させていただいた地域での開業でしたが、診療以外の雑務の多さに四苦八苦しながら、何とか1年が経とうとしております。本医会の雑誌や連絡事項にもじっくりと目を通す余裕もなく、大変ご迷惑をおかけしているのではないかと反省しております。正直、開業と同時に複数の会に入会したため、

自分でも各会の関係や内容を十分に理解できていないのが現状です。多可町は西脇市の北に位置し、神戸市街からは車で1時間半から2時間と、学会や勉強会に出席するには不便な立地で、整形外科医会等からの貴重な情報を活用し、日々の診療に従事しなければいけないと痛感しております。開業医として、より良い診療をするためには、情報の管理が、いかに重要で難しいかということを知りました。

診療内容は変形性〇〇が、ほとんどですが、中には診断・治療に迷う症例もあり、同門の先生方のアドバイスを参考に診療させていただいております。兵庫県整形外科医会は、また同門と異なったグループです。医会の一員として、皆様にご迷惑をかけないよう、地域

医療における整形外科発展のため、努力して
いきたいと思っております。今後ともよろしく
お願いいたします。



中 谷 徹 也 (なかたに てつや)

大分医科大学 平成9年卒

医療法人社団 仁正会 中谷整形外科病院

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家105

T E L : 079-426-3000 F A X : 079-426-1500

兵庫県整形外科医会に入会させていただきました中谷徹也と申します。神戸大学整形外科入局後、関連病院で研修させていただきました。アメリカのテキサス大学では骨盤骨折などの外傷学を中心とする臨床留学をさせていただきました。帰国後は神戸労災病院でお世話になり、平成20年4月より父親が開業しております中谷整形外科病院の職に就きました。

当院は24時間・365日（整形外科のみですが）救急をさせていただいております。骨折などの外傷がメインですが、圧迫骨折や腰痛などの保存的加療の入院も行っております。

時折来院される顎関節脱臼には悪戦苦闘しながらも何とか慣れてまいりました。小さな病院ですので小回りをきかせ可及的早期に検査や手術を行うよう心がけております。

まだまだ若輩者ですが、今まで諸先輩方に教えていただきました経験を生かし診療に携わりたいと思っております。また、今後も整形外科医会の諸先生方から色々なご経験を教えていただき勉強し、地域医療のお役に立てるよう精一杯努力させていただきたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



野 田 太 一 (のだ たいち)

京都府立医科大学 平成9年卒

のだ整形外科クリニック

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-7-2-2F

T E L : 078-858-8208 F A X : 078-858-8209

2008年9月よりJR住吉駅北側で開院いたしました。平成9年に京都府立医科大学を卒業し、同年に京大整形外科に入局しました。以来、北野病院、大阪府済生会野江病院、神鋼病院と主に急性期病院で計11年間勤務いたしました。

当院は理学療法士を2名常勤に配置し、運動器リハビリテーションを積極的に行い、急

性～慢性疾患のあらゆる分野の保存的治療を行うことを目指しております。

開業医として、医療以外のことでも学ぶことばかりが多くて、なかなか大変だなと実感している今日この頃です。

諸先輩方には、色々ご指導いただけたら幸いに思っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

新入会員紹介 ●



平 田 総一郎（ひらた そういちろう）（勤務医会員）

宮崎医科大学 昭和59年卒

神戸大学大学院保健学研究科（神戸大学医学部保健学科）

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-10-2

T E L : 078-792-2555 F A X : 078-796-4509

この度、兵庫県整形外科医会に入会することになりました。神戸大学整形外科および関連病院を経て、15年前に医学部保健学科の前身である医療技術短大へ赴任しました。以来、教育畑が長く、整形外科的側面から理学療法士や作業療法士を育成しております。全国の

200を超える理学・作業療法士養成校中、本学入学の難易度はトップクラスです。このように基礎学力の高い学生を、リハビリテーションの知識と技術を備えた優秀な人材へと育てることが私の使命です。微力ではありますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



福 島 久 徳（ふくしま ひさのり）

神戸大学 平成2年卒

整形外科ふくしまクリニック

〒669-1529 三田市中央町9-36

T E L : 079-564-0300 F A X : 079-564-0350

はじめまして。

平成19年12月に三田市で開業いたしました、整形外科ふくしまクリニックの福島久徳と申します。早いもので開業して2年余り経ちましたが、未だにどのように処理してよいかわからない問題が次々と出てきます。特に労務、自賠責、労災あたりの悩みがつきません。今後も諸先生方のお知恵を拝借したいと思っておりますので、ご指導よろしく願いいたします。

さて、開業して一番感じていることは、当会のメーリングリストにも柔整問題がたびたび取り上げられていますが、我々整形外科と柔整等の医業類似行為の区別が患者さんには

全くついていないということです。高齢の方だけでなく若い方も混同されているのは驚きです。もちろん勤務医の時にも多少は感じていましたし、地域性も大いにあると思いますが、開業して毎日のように痛感させられることが多々あります。

この問題に対しては単に柔整等を非難するだけでなく、我々整形外科医が一丸となって、我々の存在感を患者さんに強く示していかなければ解決にはならないと常々思っています。そのためにも当会の存在意義は大きく、一緒に頑張っていきたいと決意を新たにいたしましたので、どうかよろしく願いいたします。



水野清典（みずの きよのり）

神戸大学 平成3年卒

水野整形外科クリニック

〒673-0891 兵庫県明石市大明石町1-2-1 明石商工会議所1階

T E L : 078-917-6800 F A X : 078-917-3303

2008年4月より明石商工会議所1Fで開業致しました、水野清典と申します。この度は兵庫県整形外科医会に入会させて頂き、あり

がございました。明石の地域医療の発展に少しでも貢献できるよう、最善を尽くしたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。



山岸範明（やまぎし のりあき）

金沢大学 昭和50年卒

のり整形外科クリニック

〒663-8176 西宮市甲子園六番町18-16

T E L : 0798-45-2233 F A X : 0798-45-2230

はじめまして。今年5月より阪神甲子園駅近くで開業しました山岸範明と申します。昭和50年に金沢大学を卒業後、阪大整形外科の関連病院でお世話になり、大阪警察病院を最後に昭和61年より北陸の都市金沢で有床診療所とやっておりました。長年一人で手術や入院患者さんの治療を行ってきましたが、そろそろ体力的に限界かな？ という訳で、今年2月末に店じまいしました。金沢はしっとりとした北陸の城下町で、住むには大変良いところですが、なにぶん雪国ですので寒いです。若い頃はスキーなどで冬は寒さなんか平気で楽しんでいましたが、最近、寄る年波です

ね、寒さがこたえる様になりました。という訳で、また縁あってこちらに引越ししてくる事になった次第です。現在の住まいは、六甲山の一角にあり、大阪湾を一望でき、1,000万ドルの夜景も楽しめます。金沢よりのんびりして、静かな所です。そこで生活して五木寛之の「林住期」かなと思っていましたが、もう一働きしてみたくなり、2回目の開業となりました。

何せ2回目の落下傘開業ですので、いろいろ皆様にお世話になる事と思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



役員・委員名簿





平成21年度 兵庫県整形外科医会役員名簿



顧問

片岡 治	圓尾 宗司	水野 耕作	立石 博臣	黒坂 昌弘
吉矢 晋一	荻原 一輝	吉良 貞伸	信原 克哉	中谷 正臣

監事

武部 恭一	川井 和夫
-------	-------

会長・副会長・各理事

役職	氏名	担当	役職	氏名	担当
会長	鄭 仁秀	JCOA県代表者	理事	吉田 竹志	◆学術、新入会、リハビリ・介護保険
副会長	川那辺圭一	学術、勤務医会		中村 博行	◆有床診療所、医政、労災・自賠責
	坂田 敏郎	総務、保険、医政		後藤 義人	◆スポーツ、学校保健
	渡辺 康司	近畿ブロック、各種委員会		赤松 俊浩	◆医政、情報システム、近畿ブロック
理事	杉本 欣也	◆保険、労災・自賠責、医療周辺問題		市橋 研一	◆会員福祉、有床診療所、骨と関節の日
	原田 義昭	◆リハビリ・介護保険、保険、情報システム		出田富士夫	◆学校保健、スポーツ、学術
	丸野 師生	◆親睦会、地区、医政		井尻慎一郎	◆広報：医会だより、学術
	中山裕一郎	◆勤務医、病院、学術		葛原 啓	◆労災・自賠責、保険
	岡田 幸也	◆地区、保険、会員福祉		辻 寿	◆渉外、広報、親睦会
	松原 司	◆骨と関節の日、◆病院、保険		山根 敏彦	◆医療周辺問題、情報システム、総務
	橋本 一廣	◆総務、新入会、地区		大谷 卓弘	◆情報システム、新入会、学術
	大塚 誠治	◆新入会、医療周辺問題、学校保健		青木 康夫	◆会計、総務
	山下 仁司	◆近畿ブロック、学術、労災・自賠責			

JCOA 役員

役職	氏名				役職	氏名
理事	山下 仁司				社会保険等検討委員	葛原 啓
代議員	鄭 仁秀	坂田 敏郎	渡辺 康司	橋本 一廣	医療システム検討委員	山根 敏彦
予備代議員	原田 義昭	赤松 俊浩	吉田 竹志	丸野 師生	編集委員	赤松 俊浩
有床診療所 WG委員	市橋 研一					

理事会相談役

南 久雄

平成21年度 兵庫県整形外科医会各種委員会委員名簿

委 員 会	委 員 長	委 員			
総務委員会	早川 啓	廣瀬 哲司	白井 康雄	水野 清典	
学術委員会	伊熊 貢秀	田中 寿一	角田 雅也	松本 憲	藤田 健司
		薩摩 真一	田中 大也		
渉外委員会	竹内 一喜	亀井 滋	北野 達郎	片岡 健夫	
骨と関節の日委員会	串田 俊郎	那須 範満	宇野 耕吉	大野 博史	辻本 和男
広報委員会	吉岡 裕樹	土井田 稔	日高 康博	荻野 哲也	塚西 茂昭
情報システム委員会	佐々木健陽	高村 学	星島 一夫	麩谷 博之	北澤 久也
医政委員会	武田 好弘	河上 哲生	松井誠一郎		
スポーツ委員会	藤田 直己	松本 學	原田 俊彦	三輪 泰彦	中村 亮爾
		西林 保朗	謝 典穎		
保険委員会	庄 智矢	藤田 久夫	鈴木 国夫	大野 修	
病院委員会	荻原 徹	細谷 徹	松森雄二郎	中谷 徹也	
勤務医委員会	鷺見 正敏	園田 万史	景山 直人	吉田 和也	福西 成男
		黒田 良祐			
医療周辺問題対策委員会	上本 光秀	有田 親史	高橋 信男	松田 清嗣	
親睦交流委員会	中谷 茂	飯尾 純	鄒曉 光	小林 紀郎	松本 幸博
		宇野津雅哉			
有床診療所委員会	大森 裕	南 堰雄	青木 芳夫		
会員福祉委員会	西川 哲夫	松澤 隆	西山 茂敏		
労災・自賠責委員会	米田 紀夫	井口 哲弘	中野 利彦		
新入会委員会	大隅 義亜	大村 宗久	厚井 薫		
リハビリ・介護保険委員会	中野 恭一	北 潔	陳 隆明		

平成21年度 兵庫県整形外科医会地区委員名簿

地 区	委 員	地 区	委 員	
神 戸 市	東 灘 区	市橋 研一	尼 崎 市	大村 宗久
	灘 区	中林 幹治	伊 丹 市	米田 紀夫
	中 央 区	山田 博	宝 塚 市	那須 範満
	兵 庫 区	吉川 淳	西 宮 市	伊熊 貢秀
	長 田 区	桜井 誠	芦 屋 市	林 志郎
	須 磨 区	益子 秀久	明 石 市	山本 真之
	垂 水 区	竹内 一喜	高 砂 市	中村 亮爾
	西 区	荒木 邦公	三 田 市	竹本 勝一
	北 区	武田 好弘	川 西 市・川 辺 郡	濱田 秀樹
加古川市・加古郡	坂田 敏郎	佐用町・宍粟市	稲用 博史	
篠山市・丹波市	奥田 智	姫路市・神崎郡・飾磨郡	澤田 雅弘	
洲本市・淡路市・南あわじ市	河上 哲生	加西市・西脇市・多可町	南 久雄	
小野市・加東郡	山形 健治	三 木 市	岡田 哲	
たつの市・揖保郡・相生市・赤穂市・赤穂郡	京寿 学			
朝来市・養父市・豊岡市・香美町・新温泉町	川端 強			

平成21年度 整医協兵庫県支部役員名簿

支 部 長	赤松 俊浩	
副 部 長	丸野 師生	兵庫1区（東灘区、灘区、中央区）
	多田 健治	兵庫2区（兵庫区、北区、長田区）
	竹内 一喜	兵庫3区（須磨区、垂水区）
	南 久雄	兵庫4区（西区、西脇市、三木市、小野市、加西市）
	川端 強	兵庫5区（豊岡市、三田市）
	原田 義昭	兵庫6区（伊丹市、宝塚市、加西市）
	伊熊 貢秀	兵庫7区（西宮市、芦屋市）
	作道 義治	兵庫8区（尼崎市）
	河上 哲生	兵庫9区（明石市、洲本市）
	坂田 敏郎	兵庫10区（加古川市、高砂市）
	澤田 雅弘	兵庫11区（姫路市）
	京 寿学	兵庫12区（相生市、たつの市、赤穂市）

平成21年度 兵庫県保険審査委員名簿（順不同）

（整形外科関係－H21年6月～H23年5月）

国保	床智矢	（西	区）
	米田紀夫	（伊丹	市）
	松原司	（加東	市）
	土居忠史	（姫路	市）
	鈴木国夫	（洲本	市）
	岡田幸也	（灘	区）
	丸岡隆	（宝塚	市）
社保	塚西茂昭	（たつの	市）
	杉本欣也	（西宮	市）
	原田義昭	（宝塚	市）
	葛原啓	（灘	区）
	水口龍次	（三木	市）
	鄭仁秀	（須磨	区）
	楊鴻生	（篠山	市）
	藤原正利	（西	区）
	鷺見正敏	（中	央
	中野正恭	一	（西
柔整国保	庄智矢	（西	区）
	丸岡隆	（宝塚	市）
	高橋信男	（中	央
	松本学	（小	野
	岡田幸也	（灘	区）
	松原司	（加	東
柔整社保	杉本欣司	（西	宮
	庄智也	（西	区）
	笠原孝一	（中	央
労災	伊藤友正	（西	宮
	米田紀夫	（伊	丹
	信原克哉	（た	つ
	作道義治	（尼	崎
	杉本欣也	（西	宮
	中村亮爾	（高	砂



情報システム委員会より



兵庫県整形外科医会の情報システム

兵庫県整形外科医会情報システム委員会

- 目次：1. 情報化の夜明け
2. メーリングリストの立ち上げ
 3. メーリングリストの効用
 4. メーリングリストの拡大
 5. ウェブサイトの開設
 6. メーリングリストとウェブサイトの連携
 7. 情報システムの運営
 - 1) メーリングリスト
 - 2) ウェブサイト
 - 3) ドメイン
 8. 問題点
 - 1) メーリングリスト
 - 2) ウェブサイト
 - 3) 病診連携（医療連携）
 9. 結語

1. 情報化の夜明け

1973年に開業医を中心として発足した当会は、大学スタッフ、病院勤務医の参加を得て、会員相互の親睦と連携、地域医療、学術活動、整形外科に関わる医療問題に取り組んで来た。20世紀も終わりになる頃、医療を取り巻く状況が加速度的に悪くなる中、当会の活動は長年変わりなく、変化への遅れが危惧されるようになった。また、時代は、インターネットを中心に、情報技術が進歩し普及しつつあった。この頃、当会はまだ、会員への情報伝達をファクスによっていた。ファクスを受けられず、郵送のみとしていた会員もいた。

この時の会長が、医会活動の活性化に苦慮していたところ、情報技術に詳しい会員が、メーリングリストとウェブサイトを構築して、情報の共有と伝達の高度化、高速化を実現し、会員の親睦と情報交換に役立て、会員が様々な知識を共有し連帯感を深め、会員相互、医療機関相互で連携し、当会の活性化、ひいて

は医会活動の新しい展開につなげる事を提言した。

2. メーリングリストの立ち上げ

提案は実行に移された。提言者個人の努力で、構築作業が進められた。メーリングリストサービスは、後述するようにijjを利用することになった。全会員にメールアドレスの確認のファクスを送り、94名、会員の24.7%から参加の申し出があった。

メーリングリストは、開業医よりも、むしろ勤務医にターゲットを置き、第一に病診連携（医療連携）の実現を目指した。そのために、県内二大学医学部の整形外科教授の参加を要請した。これに続き、大学の教官、公的病院の院長、副院長や部長から、一般勤務医、開業医まで、各職域からの参加があった。

2000年6月にメーリングリストがスタートし、会内の情報システムにインターネットの技術を利用する取り組みが始まった。会長自

らが最初のメールを投稿し、日常診療における色々な問題点、医療周辺問題、医会活動、医業経営、そして趣味についてなど、自由なテーマでメールを投稿するように呼びかけた。

メーリングリストの意味が分からない会員も多くいて、性急なスタートではあった。しかし、時代はさらに速く進んでいて、立ち止まることはできなかった。

最初の1ヶ月間で、約200通のメールが投稿された。同時に、理事会のメーリングリストも設置された。

3. メーリングリストの効用

メーリングリストは、会務の連絡、行政からの情報の伝達や、内外の学術講演会の開催情報の広告や聴講記、日常診療、特に保険診療や自賠責保険の相談、スポーツ大会への派遣医師の募集、JCOAからの情報や医療行政の情報、医学の話題、症例の相談や患者の紹介、そして趣味に至るまで、開設から2年間で約1,600通のメールが投稿された。投稿者が一部のメンバーに偏る傾向は、当会でもみられたが、当初の2年間で、50名余のメンバーがメールを投稿した。

2002年4月の診療報酬改悪の前後からは、JCOAからの情報をはじめ、会員へ情報を伝える件数が増えた。会務の連絡や会からの情報伝達は、ファクスで行っていたが、2003年3月より、メーリングリストのメンバーには、メールで伝達することにしてファクス送信を停止した。これにより、年間のファクス通信費を約60万円削減することができた。

2002年4月からの2年間、メールの投稿数は増え、約2,400通のメールが投稿された。

4. メーリングリストの拡大

メンバー登録数は、年間約10名ずつの増加をみた。新規入会者には、メーリングリスト

参加を勧誘し、約半数がメーリングリストのメンバーになった。既存会員の中にメールアドレスを持って利用している事例を見つければ、メーリングリストに勧誘した。

当会では、インターネットの市民的な運用の精神から、強制的な加入という手段を採用していない。

開設から約9年経った2009年3月末の時点で、登録メンバー数は210名、会員の46.1%である。そのうち勤務医は33名で、4名の大学教授をはじめ大学教官、公的病院の院長、副院長や部長などの参加がある。投稿されたメールは通算約8,000通を数える。

医会本体のメーリングリスト、理事会のメーリングリスト以外に、この情報システムを担当する情報システム委員会を含め、会内の三つの委員会でメーリングリストを構築している。

5. ウェブサイトの開設

当会のウェブサイトは、2000年8月、個人が契約するプロバイダのホームページ開設サービスで開設された。当会を紹介するとともに、広く一般に整形外科医療を啓発し、医療の情報を発信していくことになった。これとともに、当会の組織拡大も担うものであった。

開設当初から、兵庫県の地図で会員の医療機関の情報を提供する「みなさまの町の整形外科医」というページ (<http://hcoa.jp/list/>) を構築し、会員相互および一般閲覧者の利便を図った。これが当会ウェブサイトの中心で最大のコンテンツである。

2003年5月、独自ドメイン (hcoa.jp) を取得し、レンタルサーバーのウェブホスティングサービスを利用し、ウェブサイトを移転、新たに構築し、公開を始めた。

当会を紹介したり、整形外科医向けに当会入会を勧誘するページ、一般の閲覧者向け、および医療関係者向けの様々な情報を発信す

情報システム委員会より ●

る領域を用意した。当会ウェブサイトでも最もアクセスが多いのは、労働関連法規のページである。

これらとともに、アクセス制限をかけた会員専用の領域も設置した。

6. メーリングリストとウェブサイトの連携

ウェブサイトの会員専用領域には、いくつかの掲示板を設置し、資料や画像のファイルをアップロードしたり、掲示板に告知情報を書き込む事でメーリングリストに配信されるようなシステムを構築している。これにより、重要な資料や告知事項は、掲示板に残すことができる。また、オンラインでの症例検討を行うこともできる。契約している容量は、後にも述べるが10GBである。

7. 情報システムの運営

担当理事4名、情報システム委員5名で運営している。

1) メーリングリスト

メーリングリストは、2000年の開設当初より、担当者一人の努力によって運営して来た。2003年からは管理者がもう一人加わった。

使用しているメーリングリストのサービスは、ijjのメーリングリストサーバサービスである (<http://www.ijj.ad.jp/service/system/ML.html>)。契約は担当者個人である。

ijjは老舗であり、官公庁や企業のユーザーが多い。堅牢なシステム、太いバックボーンで定評がある。

初期費用2,250円、年間の基本契約料は10,500円、この基本契約で一つのメーリングリストに1,000アドレスを登録できる。5,250円で、ウィルスプロテクションサービスのオプションを契約している。

メール1通の最大容量は10MB、複数の管理者(最大5名)を置くことができ、添付ファ

イルやマルチパートメールの可否を設定できる。過去ログ(アーカイブ)は2MB保存される。

9年間の運用の間、サーバーの停止や輻輳は経験していない。

理事会、各委員会のメーリングリストは、次に述べるウェブホスティングサービスのレンタルサーバーに附帯するサービスを利用している。無料であるが、登録可能アドレスが200件と制限があり、アーカイブの機能がない。ウィルスプロテクションは無料で提供される。

2) ウェブサイト

現在、ウェブホスティングは、NTT PC CommunicationsのWebARENA SuiteXというサービスを利用している (<http://web.arena.ne.jp/suitex/>)。

契約は担当者個人で、請求書・口座振替支払いコースで初期費用3,150円、月額料金4,200円という契約をしている。

WebARENAは、2003年のサイト移転時において、容量、機能に優れるとともに、廉価であり、システムが堅牢でバックボーンの大きさを誇っていたので選ばれた。

容量は10GB、メールアカウントは無制限で、メーリングリストも無制限に開設できる。各種CGI、SSIのほか、Perl、PHPなどのスクリプト、データベースを使うことができる。

6年間の運用で、システム障害で困ることはなかった。

現在の当会のサイトは、トップページや一部のページをXHTML手書きで制作している以外、PukiWikiで構築している。会員は、各自でIDとパスワードを使って管理領域にアクセスし、ページを制作したりサイトを構築

することが可能である（XHTML:HTMLをeXtensible Markup Languageの仕様に準拠するように再定義したもの）。

手書き部分は、管理者が個人の努力で構築している。サーバーへのFTPの権限を持つのはこの管理者のみとしている。

3) ドメイン

ドメインネームは、株式会社国際調達情報（PSI-Japan）のサービスを利用している（<http://www.psi.jp/>）。ここも老舗で信頼できる業者であり、費用も他社と比較して高いものではない。

hcoa.jpのような汎用jpドメインの場合、初期費用5,200円、年間費用は4,800円である。契約は担当者個人である。

DNSをはじめ、ドメインを管理するためのいくつかのサービスが提供され、十分すぎるものである。

ウェブとドメインで業者を分けているのは、契約当時、それぞれが最善の業者であると判断したとともに、業者を分ける事でリスクを分散するためである。

8. 問題点

1) メーリングリスト

メーリングリストに全会員が参加することが理想であり目標であるが、果てしない道のりに感じる。

1-a) パーソナルコンピューターを使うことができない

年齢に関わらず、パーソナルコンピューターを使うことができない、レセプトコンピューターやオーダーリングシステムの端末を使うのがやっとというレベルの会員がいる。

1-b) インターネットを使うことができない

メールを使うことができない、メールに関する知識が乏しく、送受でさえ、スムーズ

にできない会員がいる。毎日のメールのチェックが面倒という会員も少なからずいる。

1-c) 情報化の流れに背を向けている

オンラインで情報を受け取るという事を受け付けられない、忌避する会員も多い。メーリングリストがそもそも嫌、インターネットに情報を発出する事を恐れる会員が少なくない。情報交換や対話はオフラインか電話、情報提供は郵送かファクスでしか受け付けられないという会員が、これも年齢に関わらずいる。

1-d) 情報技術の利用自体を嫌う

何度も勧誘のメールやファクスを送ったり、顔を合わせた時の直接の勧誘を行っても、拒否、忌避される事が多々あった。また、一度登録しても、配信エラーが続き、問い合わせしても応じない、何回問い合わせても無視された事も多い。はっきり嫌だと拒否を通告されたこともある。嫌う理由は様々であろう。

1-e) メンバー数の伸び悩み

開設から約5年の時点で、既存会員でメーリングリストに参加するメンバー数は、ほぼプラトーに達した。参加しない会員には、たとえメールアドレスを所持し、個人でインターネットを利用しているとしても、メーリングリストに参加する意向はみられなくなった。

1-f) 一斉同報ファクスサービスとの兼ね合い

上述したように、2003年3月にメーリングリストのメンバーには、一斉同報ファクスによる会務の伝達を停止したが、メーリングリストのメンバーリストとファクス送信者のリストの更新にラグがどうしても生じるため、ファクス、メーリングリストの登録リストから漏れてしまう、反対に二重になる会員が出る。そのため、重要な伝達事項は全員にファクスで配信するようにし

た。現在、重要な伝達事項は必ず全員にファックスで、そうでないものはメールのみという使い分けになった。全員がメーリングリストのメンバーになれば、この問題は解決する。

2) ウェブサイト

何人もの会員が、それぞれの得意分野、専門を生かしてサイト制作に取り組むのが理想であるが、これも夢である。

2-a) コンテンツ制作

コンテンツ制作はウェブサイトを維持する生命線である。初期には、志ある会員からの投稿を待ったが、数編のペーパーが寄せられただけだった。担当者が、個人の努力で情報を収集し、サイトを構築していたが、行き詰まった。そこで、PukiWikiというコンテンツマネージメントシステム(CMS)を導入し、会員が誰でもサイト構築、ウェブ制作に参加できるようにしたが、担当者以外の会員が利用した事例は、数件のみである。

2-b) 会員が閲覧しない

掲示板に資料をアップロードするとともにメーリングリストに情報を流すことができるシステムを構築した。会員用エリアの掲示板システムは、症例検討に使うこともできる。患者の紹介の際の補助手段ともなり得る。しかし、診療報酬改定情報などの資料のアップロードや症例検討がなされた事は、ほとんど無かった。そもそも、自会のサイトを見た事がない会員が少なくない。ましてや掲示板を見て使おうとするところまで行く会員は少数であった。

2-c) 情報発信の必要性を感じない

国を挙げて、医師集団内からもバッシングされているのに、自から主張しない。誰かがやってくれるのを待つだけの会員がいる。

3) 病診連携 (医療連携)

メーリングリストとウェブサイトは、病診連携(医療連携)の手段として、紹介状、ファックス以上の可能性を秘めており、これを主要な目的の一つとして構築したが、そのために利用される事は、ほとんど無かった。

9. 結 語

医療を取り巻く状況の変化は、悪化を含めて加速し、情報技術の進歩と相まっている。医療を破壊する動きは、政府官公庁も、企業においても、情報技術を駆使した上にある。それに応じる医療の現場は、情報技術の利用で遅れをとって、その差は開くばかりである。情報は、下から、底辺から社会を構築するためにも、必要なものである。市民が連携し、社会制度を構築したり改革したりできる可能性をもたらす。

医療も、日本社会も、市民の手による成熟した民主主義社会となるためには、個人個人が情報に適切に接し、十分に取り扱うスキルを身につける必要があり、インターネットを含めた情報技術は、その一手段である。インターネットを中心とした高度情報化社会が到来した現在、パーソナルコンピューターをはじめとした個人情報端末の利用、インターネット上の様々なサービスやリソースの利用は、医療のため、自分たちの生活のため、必要不可欠なものとなりつつある。

しかし、現実には、メールやウェブを使うことができない事で、医療や生活に困る事は、実感としてはない。しかし、医療や生活を脅かすものは、情報技術を駆使して、拡大しつつある。それに気付かない人が、当会会員にも、少なくないだけであり、会員が医療に貢献できる一つの可能性は、まだ秘められたままである。



兵庫県整形外科医会 <http://hcoa.jp/>

ウェブサイトとメーリングリストのごあんない

先生方におかれましては、日頃より兵庫県整形外科医会の活動にご理解とご協力を賜りまして、まことに有り難うございます。本会ではウェブサイトとメーリングリストを構築しています。まだ訪れたことがない方もぜひ一度ご覧頂き、日常診療や施設運営に役立てて頂きたいと思っております。

ウェブサイト

- ・誰でもIDとパスワードを取得してページの作成に参加できます。ウェブブラウザ上からページを作成したり変更したりすることができます。
- ・当会サイトの最大のコンテンツは「みなさまの町の整形外科医」です。当会会員が勤務する医療機関のリストを掲示し、ウェブサイトがあるところへはリンクを張っています。
- ・サイト内は、一般向け、医療関係者向け、会員用と3つのエリアに分かれています。用途に応じてサイトに記事をアップロードできます。
- ・医療関係者向けのエリアには、現在は、当会が開催する教育研修会の予定や、医事法規などの記事を掲載しています。
- ・会員用エリアには、IDとパスワードでアクセスします。会員のみで情報を共有することができます。ここにはメーリングリストと連動した掲示板を設置しています。掲示板に情報を書き込むと同時にメーリングリストで会員に周知することが可能です。



メーリングリスト

- ・現在、約200名の会員が参加しています。日常診療の話題、保険診療のルールや注意点、診療報酬や運動器リハビリテーションに関する情報などが、電子メールで流されています。
- ・当会からの様々な連絡、案内は、まずメーリングリストで流されます。
- ・迅速、簡便で安価なメーリングリストで情報を「みんなで発信、みんなで共有」。情報の有用性は何倍にも高まります。ぜひとも多くの会員のご参加をお願いします。

メーリングリストに入っているはずなのにメールが届かないという方へ

メール送達のエラーが続いたメールアドレスは、配信を停止します。メールは、最低でも週1通は流れます。届いていない方は、ご自身のメールアドレスが機能しているかどうかご確認頂いた上で、管理者までメールでご連絡ください。

JCOAのメーリングリストとは別です

当会のメーリングリストは、JCOA（日本臨床整形外科学会）のメーリングリストとは別のものです。一方に入ることでもう一方にも自動的に入るようにはなっていないため、それぞれに入ろうという場合にはそれぞれに参加の手続きが必要です。ご了承ください。

メーリングリストのお申し込み、ウェブやメーリングリストに関するお問い合わせ、その他当会サイトへのお尋ねは、サイト管理者（赤松、kanri@hcoa.jp）までメールをお願いします。

<http://hcoa.jp/>



整形外科医政協議会へのご協力をお願い

整形外科医政協議会兵庫県支部 <http://medj.net/sik/>

整形外科・運動器医療を守る医政活動にご理解、ご協力をお願いします

整形外科医療は、2002年の大打撃やリハビリテーションの切り捨てで明らかなように、国の医療政策の中で軽んじられてきました。

日本臨床整形外科学会（JCOA）は、日本整形外科学会、日本運動器リハビリテーション学会とともに、整形外科・運動器医療の発展と政策上の改善を求めて、政府、厚生労働省、国会議員、日本医師会などに働きかけを行ってきました。そのための政治上の力を発揮する団体が、整形外科医政協議会（整医協）です。



整形外科関連分野での、整医協活動による主な制度改善

- ・再診料通減制、処置料通減制の撤廃
- ・消える運命にあった理学療法Ⅲ、Ⅳに代わる運動器リハビリテーションの新設
- ・リハビリテーション日数上限の緩和
- ・厚生労働省の審議会などへの整形外科医の参画、与党からのヒアリング、議員連盟の結成

整形外科医政協議会の力の源は、多くの整形外科医の加入による組織率です。現在の組織率は約23%。組織率の低い団体は相手にされません。

会員になって頂けますのは、日本臨床整形外科学会（JCOA）会員、およびこの趣旨にご賛同いただける有志の個人です。できるだけ多くの整形外科医のご参加をお願い申し上げます。

整形外科医政協議会は、毎年の会費納入によってその年の新入会という形をとっています。前年に会費をご納入頂いても、今回お忘れですと、会費の督促はいたしておりませんし、会員にカウントされません。ご注意くださいの上で、お取り計らいのほどよろしくお願い申し上げます。

年会費 A会員（JCOA会員） 一口2万円
B会員（JCOA会員以外の方） 一口3千円

入会申込・会費振込先 振込は郵便局のみです。個人名義でお願いします。
この振込をもって、入会申込に代えることができます。

【加入者名】 整形外科医政協議会

【口座名】 00190 - 6 - 576490

【通信欄】 一口〇〇円× をご記入ください（一口以上をお願いします）

【ご依頼人欄】 ご所属、部署、お名前、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。

問い合わせ先 整形外科医政協議会事務局
電話 03-3839-5363 FAX 03-3839-5366

その他のお問い合わせ・ご連絡：赤松クリニック 赤松俊浩
akamatsu_toshihiro@nifty.com



会員からの便り



新型インフルエンザの1週間

吉岡整形クリニック（西宮市）
吉岡裕樹

平成21年5月15日から1週間、大阪府および兵庫県のすべての学校と幼稚園合わせて4,200施設が閉鎖になった。人類が100年ぶりに経験する、新型ウイルスとの戦いであった。私の1週間を書いた。

平成21年5月16日（日）

神戸祭りの最大の呼び物のフラワーロードパレードが中止になった。神戸、西宮、大阪などの高校生にウイルス感染が確認されたからだ。人が大勢集まるところに感染が広がりやすいから、天下の神戸祭りといえども、緊急中止となるのはやむを得ないと思う。祭りに向けて準備した商品、食材もすべて無駄になった。経済損失は膨大だ。学校が1週間休校になる。会社や商店を閉めるというのは営業損失が出るから重大な決意がいるが、学校を閉めるのは比較的容易に決断できたのだと思う。ウイルスはいよいよ西宮市内に入ってきた。わがクリニックでも明日から臨戦体制を取らねばならない。

平成21年5月18日（月）

わがクリニックでは、職員にマスクを配って、朝のミーティングでこう話をした。

- (1)マスク着用は各自の自由である。患者さんからクレームがある場合は、マスクを付けること。クレームがなければ付けてなくてもよい。
- (2)患者さんから電話で問い合わせがあった時は、医師会ポスターの通り、発熱相談窓口である保健所へ電話して、発熱外来の病院へ行くよう指示すること。これ以上の具体的なことを指示するための

情報はなかった。幸い職員は誰も発熱してはいなかったが、発熱したら、やはり発熱外来を訪ねてゆくしかないだろう。わがクリニックにはもともとインフルエンザの簡易診断キットは置いてない。A型かどうか調べるためには、簡易キットがある医院へ紹介しなければならない。近くの内科に問い合わせをした。「うちの患者さんが発熱して、当クリニック受付まで来てしまった時は、貴院を紹介してもいいでしょうか」

一番近いT内科医院は、ノーで、保健所に電話してくれと言われた。2番目に近いK医院はOKで、その場合玄関外のインタホーンで対応するから、と言った。一軒でも、診てくれるところがあれば安心であった。この日出務するはずであった小学校の健康診断が中止と連絡が入った。市内全域休校だから、想定していた内容だ。午後0時50分ごろ保健所へ電話をかけたが最初の2回は話し中で、通じなかった。午後1時過ぎ3回目の電話が通じた。

「発熱患者が出たとき、どこへ行ってもらかわかっていると案内しやすい。西宮市内の発熱外来はどこにあるかを教えてもらえますか？」

混乱を避けるため病院名は公表しないことになっている。どう答えてくれるか、ちょっと不安だった。担当の女性は意外な事を言った。「発熱患者は、かかりつけ医で診てもらってください」

驚いた。政府を始め、各種マスコミがこぞって、患者は一般医療機関へは絶対行かないで、と言っている時期だったのである。それが、もう一般医院へ行きなさいと、保健所が言うのである。緊張が半分解けた。西宮市の保健所は、この時点で既に慢延期にあると判断したのである。万が一自分が発熱しても、わざわざでかけなくていいことになる。感染者

を特定するより、治療が先だという段階に入ったわけだ。私としては納得できる。

午後5時過ぎにタミフル75ミリ10錠1箱が届いた。朝に注文した分が早くも届いた。身近に感染者がでた時はこれでなんとかなるだろう。

午後8時30分から10時30分まで医師会で緊急説明会が開かれ、ほとんどの会員がかけつけた。まず西宮保健所長が説明した。

「発熱外来は患者がおしよせて既に機能不全になっているので、各自の医院で診察し投薬してください。発熱ベットは県立尼崎病院に8床、西宮市民病院に8床、県立西宮病院に1床用意しました。これでも足りない時は、兵庫医大に頼むつもりです」

私のところには重症が来る可能性は少ないから、入院に関しては心配しなかった。次に薬剤師会の役員が立った。

「タミフル、リレンザは十分量確保してあります。本日注文を出した医療機関で、10人以上注文をしても、5人分程度しか配達されなかったところがあるかもしれませんが、それは県が小出しにするよう指導したからに過ぎません。明日からは注文通りお届けできるはずですが、ただし判定の簡易キットやマスクは品不足です」午後2時ごろ、大きなスーパーで観察した限り、マスクは売り切れで、サンプルまで奪い合いをしていた。

平成21年5月19日（火）

朝礼で訓示した。

- (1)患者さんから電話があったら、かかり付け医へ行くように指導する。保健所へ電話しなくてもよろしい。
- (2)職員の家族が発熱38度の時、出勤はOK、ただし院長に報告のこと。

私は職員にタミフルの予防投与をするつもりだった。

患者さんの来院が少なかった。家で孫のお守

りをするから明日は出られないといった患者さんの言葉を思い出した。

正午のニュースで神戸市の医療担当者が会見した。発熱外来はパンク寸前なので、一般医院や病院へいってこれという内容だった。さもありません。神戸市も感染の蔓延期であると自認したわけだ。

平成21年5月20日（水）

介護保険審査会に1時間半の出務。外出はこれだけ。なるべく人込みをさけることにした。後悔先に立たず。用心するにしかず。

平成21年5月21日（木）

銀行へ30分ばかり外出、あとは院内にいた。

平成21年5月22日（金）

政府は、今日から一斉休校や空港での検疫は終了し、水際作戦を国内作戦に切り替える旨を公示した。西宮市でも休校は今日で終わりとなった。TVでは神戸の内科医が感染予防着を来て発熱患者を診察しているドキュメントを流した。その医師は、発熱患者を診た予防着を来たまま、普通患者の診察に当たっていた。予防着を脱がないと意味がないのではないのか。

神戸市は発熱患者を診る医療機関にマスク、ゴーグル、予防衣、消毒液を配布すると発表した。西宮保健所は、一般医療機関でも発熱患者を診てくれとはいったが、必要な医薬品、備品の配布については一切ふれなかった。医師会の説明会でも物品の支援については一切話なしだった。アメリカのオバマ大統領は、検疫や休校の指示は一切出さず、そのかわり新型インフルエンザのための予算をしっかりと組んで、救援物質対策をすぐに開始した。日本政府は支援なしでやれという。この差だ。

今夜の大阪ドーム、阪神とオリックス試合で観客の3割がマスクしていた。5月は一年で一番いい季節で観光旅行の最盛期だが、観光地の京都神戸は閑古鳥が鳴く。私も外を出

会員からの便り ●

歩く気分になれない。皆そうなんだ。いつも通勤で通る道路も、車の列が減った。

平成21年5月23日（土）

患者数は2割減。外出をひかえているのだろう。発熱患者はとうとう一人もなく1週間が終わった。

保険診療を巡る最近の情勢

杉本整形外科（西宮市）

杉本 欣也

医療政策に関しては救急医療・産科医療の受診困難、病院勤務医の人員不足、過酷勤務状況からマスコミ・国民の耳目が集まり、医療困窮問題が理解されフォローの風が吹くかに思われました。

しかし規制改革会議、経済審議会など内閣府に巣食う財界の保守的高齢者集団により相も変わらない逆風を吹かされ医療経済では明るい見通しの見えない昨今です。

保険診療においてはレセプト・オンライン化が喫緊の課題で既に本年4月にオンライン化期限に到達した400床以下病院において未だレセプト・オンライン化されていない病院に対して当初は1年間延期の猶予期間とされていたのが内閣府審議会のクレームにより半年間延長に短縮されしかも毎月毎に遅延理由と今後のレセ・オンライン化に向けての予定報告提出せねばならない厳しいことになった。これらから平成22年4月にはレセコン使用の紙レセプト提出医療機関がレセプト・オンライン化期限になりますが期限延長が望み薄と考えなければならなくなり、したがってこれらの該当医療機関は早急に対応を余儀なくされます。日本医師会も5月末には従来のレセオンライン化は手上げ方式の可能な医療機関

からとの主張を引っ込めてこれに積極的推進と旗印を急変更しました。今回の政府補正予算で200億余のレセプト・オンライン化関連予算で医療機関への補助等で躊躇されている医療機関もあるやに聞いていますが先ずこの補助金をいただけるかどうか不明で厳しい状況が迫ってくるばかり、請求代行、送信代行もその業務の複雑性から医師会では不可能と見るべきです。また期限が迫るほどレセプト・オンライン化関連業者も繁忙となりますので困ったことです。

もう一つは年金問題の不手際より社会保険庁解体となり保険医・保険医療機関に関する許認可・指導業務が厚生労働省直轄の近畿厚生局へ移管し我々に直に関係してくる保険診療の集団指導・個別指導等についてです。一言で言えば大変に厳しくなってくるということで従来は兵庫県医師会と社会保険事務局との密接な連携の下で波風が少ない状態で治まっていたものがそうではいかなくなります。

医療機関は保険診療、保険請求のルールを忠実に遵守していくしか対策はありません。兵庫県医師会、地域医師会からこれらについては今後も機会あるたびに警戒警報を流していきますのでご注意ください。

また平成22年4月は2年毎の診療報酬改定時期ですが診療所から病院へ保険医療費をとの流れが早くも行政側から宣伝され始めていますので診療所にとってはまたもや厳しい改定を覚悟してください。



ジョイント・ミーティング



静岡県・兵庫県整形外科医会 ジョイント・ミーティング

丸野博敏（神戸市東灘区）

平成20年11月29日 姫路 西村屋にて45名の参加のもと開催された。吉良JCOA前理事長の2年間の活動と現状の報告があり、川井和夫 兵庫県会長の歓迎の挨拶と田中久重 静岡県会長の挨拶があり、武部前会長の乾杯の発声で会が始まった。兵庫県の中谷茂会員のハワイアンバンドの結成来、初の生演奏で会が盛り上がり最高潮に達した。20年来の本会を通して初期よりの参加者である静岡の阿部正昌先生や荻原一輝、中谷正臣前会長などが楽しいお話をされ旧交を温めた。2時間余りの時間が過ぎ2次会へと移動した。



静岡県・兵庫県整形外科医会 ジョイント・ミーティング 姫路城・書写山訪問記

小林 紀 郎（姫路市）

天候は晴れ。ホテル日航姫路より神姫バス、「姫路定期観光バス」に乗車し出発。参加者は静岡県より 頼川、杉山、守重各先生夫妻と谷口先生、兵庫県より南先生、丸野先生と小林の計10名。

①西国33霊場の第27番札所「書写山・圓教寺」

山頂へのロープウェイとバスで摩尼殿へ。線香の煙が絶えず、舞台からの眺望は素晴らしかった。杉や檜の茂みに覆われた静寂な坂道を歩き、三つの堂（大講堂、食堂、常行堂）へ向かう。三つの大きな建物がコの字型に配置され、荘重感あふれていた。「食堂」と軒下で屋根を支える力士像の彫りのある「開山堂」では、僧侶による説明があった。姫路城主の本多家廟所も見学した。

②姫路城西御屋敷跡庭園「好古園」

活水軒にて穴子弁当をいただき、各自池泉式庭園内を散歩した。

③世界文化遺産「姫路城」

シルバーガイドによる案内は、i) 内、中、外の濠が大きな螺旋を描き3重に回った壮大な縄張り、ii) 連立式天守など数ある建物の造形美、iii) 侵入勢を撃ち取る仕掛けがあちこちにある精巧な戦う仕組み、の3点を主眼に、千姫にまつわる話などを盛り込み、懇切丁寧な説明だった。大天守を見上げ、5層6階のトリックや左右対称性がとても珍しいことなど、現地ならではの話もあり興味深かった。紅葉の時期でもあり、3ヵ所とも思わずカメラを構えたいくなる景色が多かった。

④最後はお土産店「播磨館」前にて解散した。



静岡県・兵庫県整形外科医会 ジョイント・ミーティング 親睦ゴルフ

坂 田 敏 郎 (加古川市)

平成20年11月30日 加古川ゴルフ倶楽部において、2年に1度の親睦ゴルフ大会が開催されました。好天、速いグリーンでの絶好のコンディションで皆和気あいあいの中でプレーが行われました。25名の参加があり、ダブルペリア競技、静岡、兵庫上位5名の対抗戦も同時に行われました。成績は以下のようになりました。対抗戦は5名のネット合計兵庫：373.4対静岡381.0で地元の利を生かし、兵庫が勝利しました。優勝はハンディキャップに恵まれ、幹事がいただきました。2年前も確か静岡側幹事の徳山先生だったと思います。汗を流せば報われるものです。2年後は富士山が望める太平洋クラブ御殿場コースでの開催が予定されています。兵庫からもふるって参加しましょう。

順位	競技者(敬称略)	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	坂 田 敏 郎	43	48	91	19.2	71.8
準優勝	松 本 幸 博	46	39	85	12.0	73.0
3 位	徳 山 博 士	53	44	97	22.8	74.2
4 位	吉 田 竹 志	52	55	107	31.2	75.8
5 位	田 中 久 重	48	46	94	18.0	76.0
6 位	中 林 幹 治	41	45	86	9.6	76.4
7 位	三 輪 泰 彦	46	46	92	15.6	76.4
8 位	坂 田 直 子	50	47	97	20.4	76.6
9 位	阿 部 正 昌	59	55	114	37.2	76.8
10 位	渡 邊 勝 典	47	54	101	24.0	77.0
11 位	吉 田 明 広	49	52	101	24.0	77.0
12 位	橋 本 一 廣	46	45	91	13.2	77.8
13 位	大 森 明 夫	52	55	107	28.8	78.2
14 位	竹 内 一 喜	62	49	111	32.4	78.6
15 位	鈴 木 暉 男	50	47	97	18.0	79.0
16 位	鄒 曉 光	52	45	97	18.0	79.0
17 位	金 元 良 人	52	53	105	25.2	79.8
18 位	一 山 茂 樹	53	52	105	25.2	79.8
19 位	橋 本 圭 祐	57	52	109	28.8	80.2
20 位	飯 尾 純	51	45	96	15.6	80.4
21 位	種 部 直 之	49	47	96	14.4	81.6
22 位	川 井 和 夫	62	46	108	26.4	81.6
23 位	鄭 仁 秀	61	50	111	28.8	82.2
B B	種 部 律 美	76	64	140	40.0	100.0
25 位	宇野津 雅 哉	76	69	145	40.0	105.0

会計報告もさせていただきます。

参加費：5,000円×23+(当日キャンセル3×2,000円)=121,000円、

賞品代：45,150円(グルメ便)、会食費：64,140円、

ニアピンボール代：9,000円(1ダース)、雑費(写真用CDなど)：2,710円

最後になりましたが、今回のミーティング、親睦ゴルフ開催に際し、帝人ファーマ(株)姫路営業所の方々に受付、案内、そして参加賞など多大な協賛をいただきましたことに深謝いたします。





ラ ジ オ ・ 新 聞



平成20年～21年 ラジオ関西「みんなの健康相談」

放送日	AM 神戸	テーマ	出演者
平成20年 2月23日		ぎっくり腰	岩崎 学 先生
平成20年 9月27日		手のしびれ	佃 政憲 先生
平成20年10月11日		ぎっくり腰	山田 博 先生
平成21年 2月14日		一般的な偽痛風	宇野津雅哉 先生

平成20年～21年 神戸新聞「カルテQ & A」

掲載日	内容(題)	執筆者
平成20年10月 4日	腰部脊柱管狭窄症	木村 琢也 先生
平成20年11月 1日	変性側弯症	小林 紀郎 先生
平成21年 1月 9日	デュピュイトラン拘縮	藤岡 宏幸 先生
平成21年 1月16日	ヘバーデン結節	福島 久徳 先生
平成21年 4月10日	腰椎の圧迫骨折	中野 利彦 先生
平成21年 5月 8日	特発性関節内血症	原井 薫 先生

神戸新聞「カルテQ&A」の 平成20年10月4日 木村 琢也 先生の回答です

《腰部脊柱管狭窄症》体を積極的に動かして

Q：四年前に腰部脊柱管狭窄症の手術を受けました。腰に1キロほどの物が載っているような感じで、すねがしびれ、このごろひどくなりました。リハビリに週3回通っていますが、効果はありません。寝たきりになるのではと心配です。（76歳、女性）

A：腰部脊柱管狭窄症は、加齢で脊椎の変形が進み、脊椎の中を通る神経が圧迫される病気です。五十歳以上の男性によく見られます。

この病気の典型的な症状は「間歇性跛行」で、歩き始めてしばらくすると足の痛みで歩けなくなり、しゃがんで休むと痛みが和らぎ、再び歩けるようになることを繰り返します。ほかの症状として腰痛、足の痛み、感覚の鈍さ、足のしびれなどがあります。

足のしびれはなかなかとれにくく、特効薬はありませんが、ビタミンB12を服用することで軽くなることがあります。

歩行時の痛みは、痛み止めや神経をまひさせる注射で一時的に和らげることができますが、根本的な治療は切開手術です。骨を一部削り、神経の通り道を広げます。その際、骨の近くにある筋肉を左右に押し広げます。術後、その部分の筋肉が回復するまでに腰部のだるさを感じる場合があります。

リハビリ、特に運動療法を続けていれば、徐々にだるさは軽減していきます。手術後の患者は安静にしがちですが、逆効果です。腹筋、背筋、足の筋肉を鍛え、積極的に動

かしましょう。リハビリに通っているなら、寝たきりになる心配はまずないと思われます。

運動の内容や量は整形外科専門医とよく相談し、体調や症状に応じて行うと良いでしょう。

（兵庫県医師会、木村琢也＝尼崎市、きむらたくや整形外科クリニック院長）

神戸新聞「カルテQ&A」の 平成20年11月1日 小林 紀郎 先生の回答です

Q：背骨の変性側弯症のため、整形外科に通院しています。足のひどいしびれに悩んでおり、神経がかなり圧迫されているようですが、歩けるので手術はできないとのことでした。現在、ビタミン剤処方以外の処置はありません。しびれを取る方法はありませんか。（女性、82歳）

A：変性側弯症とは、加齢に伴い腰椎が全体的に変形し、体の中心線から見て、背骨が左か右に湾曲する病気です。主な症状は足の痛み、しびれ、歩行傷害などです。

治療方法には、手術か、手術しない「保存療法」の二通りがあります。手術をする場合、手術自体や術後の合併症に耐えられる体力があるかどうかなどを考慮しますが、高齢者は避けることが多いようです。

保存療法には①薬の服用②リハビリ③コルセットなどで体を固定する装具療法④麻酔薬を注射する神経ブロック療法—の四通りがあります。飲み薬にはビタミンB12、抗うつ薬、血流改善薬などを用います。リハビリには、柔軟体操や自転車こぎなどの運動療法のほか、体を物理的に引っ張る腰

椎牽引療法、脚を温めたり電氣的に刺激を与えたりマッサージしたりする物理療法があります。これらを組み合わせて治療するのが一般的です。

家庭では、脚を湯と水に交互に漬ける「交代浴」をしたり、浴槽内で脚を動かして血行を改善させたりすると症状が和らぐこともあります。長時間歩くときは、歩行補助車を使うのもいいでしょう。

この方の場合、しびれを完全に取るのは難しそうですが、運動に努めるとともに、幾つかの治療法を組み合わせると和らぐこともあります。かかりつけの医師とよく相談し、長い目で経過を見ていくようにしてください。

(兵庫県医師会、小林紀郎＝姫路市、小林整形外科院長)

神戸新聞「カルテQ&A」の 平成21年1月9日 藤岡 宏幸 先生の回答です

Q：左の手のひらの真ん中に塊がいくつもでき、整形外科では良性の腱膜、皮膚科では線維腫と言われました。副腎ホルモンなどの注射をしましたが治らず、手の指が動かなくなったら手術と言われました。治療法はありませんか。(女性、63歳)

A：手のひらから指にかけてしこりがいくつもできるような症状から、デュピュイトラン拘縮と考えられます。高齢男性の小指や薬指などに多く見られ、徐々に皮膚が引きつり、指が手のひら側に曲がって伸ばしにくく、パーの状態がしにくくなります。

指を曲げる腱の周囲にある腱膜という組織の異常によって発症しますが、その原因

は不明です。糖尿病の人によく発症することが知られています。しこり自体に痛みはありません。注射や薬物で治療を試みた時期もありましたが、効果が不明なので現在はそうした処置はあまりしません。

根本的な治療は手術以外にありません。ただし、タイミングが重要です。指が曲がって時間がたつとその状態で硬直化し、手術してもパーの状態にしにくくなり、手術の効果が薄れます。

生活に支障がないなら、特に治療せず様子を見ますが、指が曲がり始めたら、早めに医師に相談し、手術を受けましょう。症状が急激に進むことはありませんが、半年に一度は診てもらってください。

手のひらは神経が複雑に入り組んでいるので、手術は難しくなります。大きな病院で、専門医に手術してもらった方がいいでしょう。手術後は積極的に指の曲げ伸ばしをしてください。

(兵庫県医師会、藤岡宏幸＝神戸市、神戸大学付属病院整形外科)

神戸新聞「カルテQ&A」の 平成21年1月16日 福島 久徳 先生の回答です

Q：両手の多くの指の第一関節付近にこぶができています。痛みはありませんが、特に左手の中指と薬指の関節近くが大きく膨らんでいます。整形外科では、老化によるもので、ある程度の大きさになると止まるため、放っておくように言われました。大丈夫でしょうか。(女性、57歳)

A：同様の症状からリウマチを心配する人が多いのですが、リウマチが第一関節付近に

現れるのはまれです。この方の場合、ヘバーデン結節だと思われます。

ヘバーデン結節は加齢に伴う変形性関節症の一種で、閉経後の女性に多い症状です。原因ははっきりしていませんが、リウマチほど深刻な病気ではありません。指の第一関節の骨が膨らみ、指が曲がったまま固まったり、動かしにくくなったりします。何本もの指に同時に症状が出るのも特徴です。

大半の場合、一時的に痛みを伴いますが、長くても数年で治まります。質問のケースでも、かつては痛みがあったのではないのでしょうか。

痛みは湿布や軟こう、鎮痛剤などで和らげます。薏苡仁湯などの漢方薬も効果がある場合があります。痛みが治まれば特に治療の必要はなく、基本的に様子を観察します。骨の変形は、ある程度進行すれば止まり、日常生活へはまず影響しません。あまり心配しなくても大丈夫です。

第一関節が固まる前なら、指を伸ばしたままの状態テーピングをしましょう。痛みを和らげ指の変形を軽減するのに有効です。

変形が大きく、見た目が気になるなら、出っ張った骨を削ったり、第一関節を固定する手術も選択肢の一つですが、そこまで希望される方は実際にはほとんどいません。(兵庫県医師会、福島久徳＝三田市、整形外科ふくしまクリニック院長)

神戸新聞「カルテQ&A」の 平成21年4月10日 中野 利彦 先生の回答です

Q：昨年十一月に自転車で転倒し、腰を痛めました。けがをした直後は歩行困難になりましたが、今では少し歩けるようになりました。しかし、腰痛とともに足の裏のしびれを感じるようになり、室内ではほうように移動しています。どうすればいいでしょうか。(男性、84歳)

A：自転車で転倒し、当初は歩行困難になったということから、腰椎の圧迫骨折を疑います。

一般的に腰椎の圧迫骨折の患者は、けがをしてから約三週間後に医療機関を訪れることが多いです。直後は体を動かさず、三週間ほどで幾分症状が改善し、歩けるようになるからです。質問の方は歩くこともできるようになってきているようですので、整形外科など近くの医療機関を受診し、腰椎のエックス線検査で骨折の有無を確認してもらってください。

骨折があれば、足の裏のしびれは「遅発性麻痺」の可能性が 있습니다。「遅発性麻痺」は、折れた骨が徐々につぶれて神経を圧迫し、けがから遅れて症状が出ます。病院で腰部の磁気共鳴画像装置(MRI)を撮り、脊髄への圧迫がないか確認してもらってください。

治療は、通院か入院で対応します。骨折の部位やタイプによって異なりますが、胸部から腰部にギブスを巻いたり、コルセットを装着したりして、体の動きを固定するのが一般的です。高齢者で骨粗しょう症を伴った圧迫骨折で、麻痺が見られない場合

は、通院で治療することが多いです。

遅発性麻痺がある場合は、装具の装着や薬の服用、リハビリを行います。症状や麻痺が改善しない場合には、手術も考慮します。

まずは病院で検査を受け、適切な治療法を相談してください。

(兵庫県医師会、中野利彦＝伊丹市、中野整形外科リハビリクリニック院長)

神戸新聞「カルテQ&A」の 平成21年5月8日 原井 薫 先生の回答です

Q：二十年ほど前から、ときどきひざに水がたまります。最近は、血がたまるようになり、これまで四回、病院で抜きました。気を付けることはありますか。お風呂で温めることや歩くことはよくないでしょうか。

(女性、89歳)

A：ひざに水がたまり始めた二十年ほど前から、関節のかみ合わせが悪くなる「変形性ひざ関節症」があったのでしょうか。それが進行し、半月板の周りの血管が傷ついて出血したと考えられます。「特発性関節内血症」という症状です。

まず出血を止めるのが第一。お風呂で温

めることや歩行は、出血がある間は控えてください。

出血を止めるには一般的に、関節内洗浄という方法が採られます。注射器を使って関節の中に食塩水を入れ、洗い流す方法です。止血剤を含めることもあります。一、二週間に一回の注入を数回続ければ、多くの場合止血できます。止まらなければ、内視鏡による手術が必要となります。

止血後は、患部を温めるのは、痛みを和らげるのによい方法です。積極的に歩いてください。

血が止まっても、引き続き水がたまるようなら、ケアが大切です。関節の潤滑剤であるヒアルロン酸の注入により、症状の改善が期待できます。また、日ごろからひざにかかる負担を減らすように心掛けましょう。体重が重ければ、減らす。和式トイレや正座、中腰での家事などはなるべく避けてください。

あおむけに寝転んで、片足を伸ばしたまま十センチほど上げ、五秒間静止する体操もお勧めです。これを左右それぞれ二十回ずつ続けてください。ひざ回りの筋力アップにつながり、関節を安定させるのに効果的です。

(兵庫県医師会、原井薫＝神戸市西区、あつい整形外科・リウマチ科院長)＝金曜掲載＝



講演・役員会・理事会など



西播磨整形外科医会 学術講演会 第10回記念講演会

日 時：平成21年 9月12日（土）19時～
場 所：ホテル日航姫路 3F 「光琳の間」
姫路市南駅前町100番
T E L 079-222-2231

プログラム：

19時～19時10分

【医薬品紹介】 日本臓器製薬株式会社
帝人ファーマ株式会社

19時10分～20時40分

【特別記念講演】

座長：岡田整形外科

院長 岡田 雄二 先生

『スポーツビジネスの現状と未来』

スポーツジャーナリスト

株式会社スポーツコミュニケーションズ

代表取締役 二宮 清純 氏

20時40分～

【情報交換会】

（お知らせ）

* 日整会認定資格継続単位 申請中
（1単位 1000円）

* 日医生涯教育講座認定単位 申請中

* 参加費1000円

第14回「骨と関節の日」市民公開講座

(平成20年10月9日、兵庫県医師会館)

講演1：「骨粗鬆症に伴う骨折の予防」

兵庫県立加古川病院 整形外科 部長 角田 雅也 先生

講演2：「骨粗鬆症は運動器不安定症になる」

兵庫医科大学篠山病院 整形外科 准教授 楊 鴻生 先生

日時：平成20年10月9日

場所：兵庫県医師会館

講演1：「骨粗鬆症に伴う骨折の予防」

兵庫県立加古川病院整形外科部長
角田 雅也 先生

転倒による骨折が65才以上の死因の第3位である。大腿骨近位部骨折が年間10万人も発生し、ほとんどが高齢にもかかわらず手術が必要になっている。転倒しなくても骨粗鬆症

が高度であれば、くしゃみ、せきでも脊椎圧迫骨折が発生し、1つ発生すると2～3ヶ所に発生しやすく、さらに円脊・身長短縮による慢性疼痛や活動性の低下など負の連鎖が起こりやすい。予防の観点では、骨の吸収と形成の生理的説明、生活習慣の改善や食事からサプリメントなどがある。転倒予防に役立つ運動として、楽しく感じられる事を30分、週2～3回、脈拍10秒あたり20回（120/分）で行うなど、具体的な数字を挙げて説明した。

(文責：石田 文夫)



角田 雅也 先生



楊 鴻生 先生

日時：平成20年10月9日

場所：兵庫県医師会館

講演2：「骨粗鬆症は運動器不安定症になる」

兵庫医科大学篠山病院整形外科准教授

楊 鴻生 先生

「骨にやさしい住まい方、くらし方」という、手書きのイラストを含む6ページからなるプリントを会場の聴講者に配布。①転倒を未然に防ぐには ②骨を丈夫にする食生活 ③体操の方法 ④体操以外の生活の中での運動、ウォーキング、日光浴などを解説。現在

すでに65才以上の方が人口の23%に達し、さらに高齢化社会に進み、要介護の20%、要支援の28%が、骨折・転倒と関節疾患という整形外科の病気である。さらにこれら整形外科疾患と内科的な生活習慣病（高血圧、糖尿病）でADLが低下するため、骨粗鬆症と生活習慣病に対する予防医学的アプローチが今後さらに重要になる。整形外科的には、65才以降に骨折が急増するので、症状がなくても65才以前から、薬による骨粗鬆症の治療と転倒予防のための訓練、とくに片脚起立訓練が有効である。（文責：石田 文夫）

平成21年度 総会、 第1回役員会、第1回学術講演会

(平成21年1月31日、神戸国際会議場)

●役員会

●総会

1：開会の辞	司会：南 久雄
2：議長選出	笠井 隆一
3：会長挨拶	南 久雄
4：黙 禱	川井 和夫
5：会員の動向と入退会	川井 和夫
6：平成20年度事業報告	橋本 一廣
7：平成20年度会計報告と平成21年度予算案	川井 和夫
8：平成20年度監査報告	鄭 仁秀
9：新JCOA理事挨拶	武部 恭一
10：新会長の承認	山下 仁司
11：新会長挨拶	川井 和夫
12：新役員の紹介と承認	
13：新副会長挨拶	
14：新役員挨拶	
15：閉会の辞	坂田 敏郎

●学術講演会

特別講演Ⅰ	座長：甲南病院 副院長	三枝 康宏 先生
	「各種人工股関節の適応と成績」	
	関西労災病院 整形外科部長	大園 健二 先生
特別講演Ⅱ	座長：神戸労災病院 整形外科部長	山崎 京子 先生
	「上肢の絞扼性神経障害の手術適応と成績」	
	笠岡第一病院 院長	橋詰 博行 先生

●懇親会

挨拶	司会：丸野 博敏
	鄭 仁秀
	渡辺 康司

平成21年度
第1回学術講演会のまとめ

日時：平成21年1月31日

場所：神戸国際会議場

特別講演 I 「各種人工股関節の適応と成績」

関西労災病院

整形外科部長 大園 健二 先生

近代人工股関節全置換術（THA）45年の歴史において初期はカップとステムの固定には骨セメントが用いられてきた。1985年頃からセメントレス固定法が台頭し、その後、使用される金属もコバルトクロム合金やチタン合金になり表面処理技術にもめざましい進歩がみられた。ステム形状も股関節の解剖学的特徴に適応したストレート型またはアナトミック型ステムデザインや日本人に多い先天性股関節脱臼や形成不全股に対応する機種、あるいは日本人の小柄な体型に適応する機種などが開発されている。長期耐用性を高めるために関節摺動面の組み合わせも、コバルトクロム合金骨頭+超高密度ポリエチレンやセ

ラミック+セラミック、メタル+メタルなどの臨床応用で関節面の摩耗が著明に減少し良好な成績が得られるようになった。現在までの臨床成績は概括的に術後15年で90%以上、20年でも80%以上がゆるみなく再手術無しに良好な経過を示している。現在の臨床使用状況であるが、病態に応じた人工股関節機種の選択が重要であり、前捻が強く髓腔が狭いものに対しては、ANCA FIT、RAやPrimary OAに関しては耐脱臼性のある大骨頭を用いた置換を、Crowe 4型のような殿筋内脱臼の症例や強直股に対しては前捻や頸部の高さを調節できるS-ROM typeのTHAを実施している。各種骨切り術の適応はより厳密に制限されつつあり、50歳代未満でも、人工股関節の適応は拡大しつつある。術後のスポーツ復帰に関してはテニスなど極端に激しいスポーツへの復帰は制限されるべきであるがゴルフやボーリングなどは可能であり、より大きなROMが必要な症例、たとえば正座が必須である職業などでも機種により対応可能となりつつある。

（文責：学術担当理事 吉田 竹志）



大園 健二 先生

日時：平成21年1月31日

場所：神戸国際会議場

特別講演Ⅱ「上肢絞扼性神経障害の手術
— 適応と成績 —」

笠岡第一病院

院長 橋詰 博行 先生

絞扼性神経障害は、末梢神経が解剖学的特定部位で、主として圧迫により障害される有連続性の神経障害であり、KopellとThompsonにより1959年に初めて提唱された。上肢の絞扼性神経障害は手根管症候群と肘部管症候群が代表的で絞扼性神経障害のなかで前者が全体の2/3、後者が1/4で合計すると11/12の高い確率である。

手根管症候群の診断には環指の知覚分離が非常に大切で、環指の橈側は正中神経支配、尺側は尺骨神経支配のため、この部分（橈側）での知覚異常があれば高い確率で手根管症候群といえる。鑑別疾患としてはDouble crush syndrome（頸椎疾患との合併）とrecurrent branch entrapmentである。保存療法としてはステロイドの局注はあまり行わず、内服療法

(PSL 10mg/day) することが多い。特発性670例に対する鏡視下手根管開放術の成績を検討した。重傷度の判定には母指球筋の萎縮の有無が指標となる。知覚異常だけのGrade1でもDML (distal motor latency遠位潜時) 7ms以上の症例は保存的療法では再発が多く、手術する症例が多い。DML 5.2-7.0msの症例は3カ月以上の保存療法に抵抗性の症例は手術とした。手術結果は術後1カ月で全く改善のない症例は最終的にFairあるいはPoorで6ヶ月時点でしびれが残っている症例は最終的にもPoorである。術前にDMLがとれない症例は特に成績が悪く、FairとPoor症例の61%をしめた。正中神経のrecurrent branch entrapmentではmotor branchの確認が必要で、ABL（短母指外転筋）とFL（第1虫様筋）の電気学的活動性を検査しABLの活動性が正常であるのにFLが導出できないものについてはrecurrent motor branchのみの障害を考え内視鏡的手術ではなく開放術をとともにrecurrent branchの開放術を実施している。

肘部管症候群に対する手術は、反対側と比較して刺激伝導速度が10m/sec以上を適応とし、最近では肘内側の1.5cmの小切開による低侵襲手術（小切開Osborne法）を行っている。これを実施してのち尺骨神経が脱臼する症例に関してはKing法を追加している。

前骨間筋麻痺症例は完全麻痺で改善のない場合、3カ月時点で開放術を実施している。

後骨間神経麻痺症例では従来は3カ月時点まで待って手術していたが、最近では完全麻痺で回復のない場合、6週間時点で開放術を実施している。絞扼性42例のうち回外筋入口部分での圧迫が33例と多いが、最近では入口部だけでなく出口についても開放する方法



橋詰 博行 先生

講演・役員会・理事会など

を実施している。また2例にくびれの存在する症例があり、うち一例でくびれを切除しその病理所見では血管炎の像が認められその病

態は血管炎であることが示唆された。

(文責：学術担当理事 吉田 竹志)



懇親会にて

平成21年度 第1回理事会

(平成21年2月28日、クラウンプラザ神戸)

1. 会員動向：青木

会員数 456名、JCOA 310名、勤務医会 120名

2. 新任理事挨拶

井尻、出田、葛原、辻、青木、川那辺、大谷、山根、市橋

3. 学術講演会の予定：吉田

4月4日 生田神社会館

6月27日 生田神社会館

10月24日 生田神社会館

12月5日 クラウンプラザ神戸

講演会共催 3月7日 ラッセホール

4. 理事会の予定：鄭

6月6日、8月29日、11月14日 クラウンプラザ神戸

5. セラピスト研修会担当理事の選任：鄭

青木会計担当理事と副会長で担当する。

年1～2回の開催予定。

6. 医会だより発行予定：井尻

次号78号を6月発行予定、6月、12月の年2回発行予定とする。

印刷会社を変更、これまでより低額化できる。

記事内容と原稿収集について、会員からの寄稿をお願いする。

7. 理事会、各委員会でのMLの運用：赤松

各委員会のを構築する事が可能である。

現在、理事会、情報システム委員会、学術委員会、スポーツ委員会で運用している。

8. 整医協の報告：赤松、山下

兵庫県での加入率は、22.9%と全国平均より低い。

今年は衆議院選挙があるので、医政活動において整医協の会員組織率と財源がさらに重要になる。

9. 理事、役員の出務の交通費：鄭

一律支給することになった。

10. 学術講演会での非会員の扱い：山下

現在は、会場費はとっていない。引き続き検討することとした。

11. JCOA 理事会の報告：山下

名誉会員の推薦について、兵庫県では中谷、吉良両顧問が推薦された。

JCOA法人化は、代議員制をとり、今年の総会で決定する。

介護保険短時間通所リハビリテーション施設への参入のハードルは高い。

第22回学術集会（愛媛）の演題応募について。

日整会との合同での市民公開シンポジウムでロコモ、ロコトレ、ロコチェックを広める。

12. JCOA社会保険等検討委員会の報告：葛原

平成22年改定の要望事項をまとめた。

介護保険短時間通所リハビリテーション施設への参入について検討。

保険審査員に、再審査の状況についてアンケートを行う。

13. JCOA医療システム検討委員会の報告：山根

柔整療養費は、受療者一人当たり1ヶ月18,000円である。

郵政健保が受療委任払いを停止した件について。

理学療法士と柔整師とのダブルライセンスの問題。

厚労省研究班で、代替医療を研究する班が、日整会脊椎脊髓病医のリストをウェブサイトから無断で使用した件について、同アンケートは中止、破棄された。

14. 整医協研修会の報告：杉本

整医協、JCOAは、日医でも出来ないような折衝を、厚労省と行っている。

介護保険改定は、来年の医療保険改定にリンクしている。

消炎鎮痛等処置は、年間800億円の医療費で、40%は、内科外科である。

リハビリテーション全体では、4,500～5,000億円の年間医療費である。

運動器リハビリテーション施設は、整形外科診療所の45%である。

脳血管疾患のリハビリテーションは、運動器リハビリテーションと同程度の患者数で、2～3倍の医療費を使っている。

15. JCOA病院部会研修会の報告：鄭

DPCに騙されてはいけないとの石原謙愛媛大教授の講演の紹介。

16. JCOA 近畿ブロック会議：山下

平成20年11月1日、滋賀で開催され、既にMLで報告した。
次回は、平成21年6月22日、京都で開催。

17. JCOA学術集会、研修会について：鄭

学術集会：平成21年7月19日～20日、愛媛県松山市
研修会：平成21年10月10日～12日、佐賀県

18. 学術講演会のちらしの件：渡辺

学術講演会の案内ちらしが勤務医入会のきっかけになるような、案内文を付記してはどうか。
学術委員会で検討し実行する。

19. 神戸市整形外科医会について：岡田

兵庫県整形外科医会の下部に位置し、市行政、市医師会のカウンターパートともなる神戸市レベルの会を立ち上げた。
学術講演会は年1回、各区でも講演会などを行う。

平成21年度 第2回役員会

(平成21年4月4日、生田神社会館)

1. 会員の動向：青木

総会員数 456名、JCOA 311名

運動器リハビリテーション・セラピスト資格継続研修会について

第1回 7月26日(日) 兵庫県医師会館2階 大会議室

第2回は12月の予定 詳細は未定

2. 今後の講演会について：吉田

6月27日

講演1 奈良県立医科大学 整形外科 講師 熊井 司 先生

「腱・靭帯付着部症の病態と治療 - スポーツ障害を中心に -」

講演2 大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学

准教授 橋本 淳 先生

「骨関節疾患節疾患に伴う骨代謝異常により生ずる症状と

その診断・治療」

10月24日

講演1 京都大学医学部附属病院 整形外科

講師 中山 富貴 先生

腫瘍の話

講演2 医療法人 聖医会藤川病院

院長 藤川 謙二 先生

(日本医師会自賠労災委員会委員長)

自賠責の話

12月5日

講演1 奈良医大 神経内科

教授 上野 聡 先生

「整形外科医に役立つ神経内科の知識」

8月8日

骨粗鬆症フォーラムin兵庫

ホテルオークラ神戸1階 「平安の間」小野薬品協賛

Session I 大阪市立大学大学院医学研究科老年内科学

教授 三木 隆己 先生

「骨粗鬆症診療に骨代謝マーカーをいかに使うか？」

Session II 鳥取大学医学部保健学科

教授 萩野 浩 先生

「骨折予防をめざした新しい骨粗鬆症治療

- 日本発のエビデンスからの考察 -」

3. 骨と関節の日：鄭

10月8日 兵庫県医師会館
テーマ、講演者 未定

4. 次回理事会・学術講演会：鄭

6月6日 クラウンプラザ
講師：吉田 竹志 先生
8月29日
講師：劉 先生
11月14日



5. 近畿ブロック会議：鄭

6月13日 京都 参加者予定 鄭 青木 山根

6. JCOA理事会から：鄭

- ・名誉会員として今期、吉良先生 中谷先生を推薦する。
- ・80歳以上の会員（135名）の会費免除について原則本人からの申請として認める。
- ・看護師、事務職の給与のアンケートの協力をしてほしい。
- ・学術研究費助成金の公募をしている。

7. 保険審査委員会：鄭

7月2日 審査委員推薦はだいたい例年通りとする。

8. 委員会報告

地区委員会：丸野

地区委員の見直し 三木市、豊岡市、三方郡の委員の見直し
尼崎地区委員の変更 串田先生から大村先生へ変更

9. その他

接骨院への受診について：原田

当会会員の整形外科医院の従業員でマッサージを目的としての接骨院への受診が確認されている。

マッサージ目的での受診を控えるように会員に徹底するよう要望する。

平成21年度 第2回兵庫県整形外科医会 学術講演会

(平成21年4月4日、生田神社会館)

特別講演Ⅰ 座長：神戸大学医学部 整形外科学 講師 藤岡 宏幸 先生
「股関節疾患患者や高齢者における歩行障害」

神戸大学医学部保健学科 教授 平田 総一郎 先生

特別講演Ⅱ 座長：兵庫医科大学 整形外科学 教授 吉矢 晋一 先生
「明日はわが身の整形外科医事紛争」

(医)長吉総合病院 病院長 梁瀬 義章 先生

平成21年度

第1回学術講演会のまとめ

日時：平成21年4月4日

場所：生田神社会館

特別講演Ⅰ「関節疾患や高齢者における
歩行障害」
神戸大学医学部保健学科
教授 平田総一郎 教授

歩いていない患者のちがいはなにか？ これらは興味ある事項であるが結論は未だでなかった。変股症の歩き方の特徴として、トレンデレンブルグラーチ (T lurch) という現象がある。歩くときに体幹が横ぶれする、すなわち健側の立脚時には頭の中心は体のほぼ中央を通るものの、患側の立脚時には頭の真ん中は患側方向に寄る動きである。(トレンデレンブルグサインは患側で立った場合、反対側の骨盤が落ちる現象)

股関節疾患の患者の歩行障害についての検討

神戸大学のヒップ外来に通院する患者の対象に、年齢、BMI hip score、歩くスピード、レントゲン所見などを検討し調べた。その結果平均歩数は6646歩で健常者の7割に相当する歩数であった。歩数に最も強く関連した項目は職業であり、職業を有する群では末期関節症があってもなくても平均歩数は変わらない。しかし職業が無い群では末期関節症があると歩数は著明に減少していた。それでは股関節疾患を持つ患者にどの程度の歩行が必要あるいは適当であろうか？ 歩いている人と



平田総一郎 先生

高齢者の歩行障害についての検討

神戸市内の介護予防型のデイサービスをうけている自立の高齢者を検討した。運動器不安定症の基準としてのTimed Up and Goテスト（TUG：座った状態から立ち上がって3m先の印を回って帰ってきて座るまでの時間）は運動器不安定症の基準である11秒以上の患者が67% 膝関節痛を訴える患者は30% 腰痛がある患者は28% 過去一年間に転倒経験があるものが29% 介護予備軍である特定高齢者候補は40% 歩数に関して、膝関節痛がある場合に歩数に影響はあまりない一方腰痛症がある場合は歩数が低下する。これらの症例から多変量解析すると特定高齢者はTUGの成績が悪く、膝関節の痛みを訴える患者が多い、また転倒に関してはTUGが強く関連しているという結果であった。

変形性膝関節症の人への歩き方指導について

変形性膝関節症の人について、歩き方により関節症の進行が異なるという報告がある。すなわち、つま先を前向きにして歩くと、床反力は膝関節の中心よりかなり内側を通過するため膝内側にストレスがかかる。一方、外向きにして歩くと床反力の通過位置が膝関節の中心に近くなるので膝関節にかかる負担が減少する。また前出のトレンデレンブルグラーチ歩行をすることにより、重心線が膝関節中央の方に寄ってくるので膝内側にかかるストレスが軽減される。この事実は変形性膝関節症の人への歩き方指導として有意義である。

（文責：学術担当理事 吉田 竹志）

日時：平成21年4月4日

場所：生田神社会館

特別講演Ⅱ「明日はわが身の

整形外科医事紛争」

長吉総合病院

院長 梁瀬 義章 先生

鉄道事故と医療事故を比較すると、例えば尼崎の悲惨な事故においては家族にとってはJRに殺されたというような感じの認識を持つ場合がある。医療においても、医療行為で患者さんがもし亡くなられた場合、故意ではないというのが医者の考えでも、家族には、やはり殺されたというふうに感じることもある。

我々医者としては、いろいろな事故を見て同じ過ちを繰り返さないように努力すべきでまた、安全、リスクマネジメントに関しても、だれという個人攻撃ではなく、システムエラーかどうか、何が事故を招いたかと絶えず反省すべきである。そして何よりも後遺症を持った患者さんの心を悼んで、また亡くなられた家族の方の悲しみを察するということが大事である。

去年1月の日本医師会の新聞に、唐澤会長が、「医療契約というのは、いわゆる結果まで補償する請負契約じゃなくて、ベストを尽くす準委任契約だ。」と書いている。だから万が一ある行為で出血させたとしても、それを起こすかもわからないのが医療の契約ということをもっと患者さんに理解してもらわないといけないと思われる。とにかく医療というのはこういうものですよということを絶えず説明しないといけない。

最高裁が報告している年次別の医事関係訴訟件数は年々増加の傾向にある。なぜ医療過誤の訴訟がふえてきたのか、わずかな事故で

も大々的に報道するマスコミにも責任があると思われる。また、患者さんの権利意識の高まりもある。インフォームドコンセントの重要性もあり、そのようなことは聞いていなかったとトラブルになる。そして、医療の不確実性であるが、患者さんにとれば、医者は治すのが当然だという考え方をされることがある。

医事紛争がふえているが、刑事訴追がふえているのも一つの今の傾向で、いわゆる民事訴訟だと、医師会が中間になっているいろいろな両者の間に立って対応できるが、刑事訴追になってしまうと、個人と警察の関係になってしまう。患者さんサイドがもっと真実を知りたいからといって刑事訴追する事例がふえている。刑事訴追の場合、医道審議会にかかることもある。最近は禁固刑も少し出ている。医療過誤に対する処分は本来、民事処分あるいは行政処分に限定すべきではないかと思う。民事では、程度過失が認定されると、患者さんの損害に対して余分の治療費用、入院慰謝料、通院慰謝料、休業補償、後遺症が残れば遺失利益が発生するが、本来は民事で解決すべきと思う。

明らかに過失が思われるようなときには、



梁瀬 義章 先生

やはり誠意を持って対応して、謝罪すべきときは謝罪すべきだと思う。ただ、明らかな過失がない場合、あまり謝罪すると、裁判が不利になるので、徹底して争うべきだとも弁護士は言う。

医師会に入っている医師は医師賠償責任保険というのに入っているが交通事故と違って、相手に対して保険からカバーするなどとは絶対言わず、第三者に相談するというような感じで医師会にまず相談して貰うのが一番よい。

警察へ届けられて業務上過失致死容疑で書類送検され、さらに簡易裁判所でも医師の責任を認められて、有罪判決になると処分がいろいろ出て、その次に医道審議会にかかる。刑事責任の場合は、民事と違って中間型の和解がなくて、有責か無責。医道審議会にかかるとほとんどは医業停止何ヶ月、ひどい時は免許取り消し。医道審議会で処分を受けると、日整会から除名ということになり専門医の資格も喪失するので、とにかく刑事になったときは、幾ら患者さんが不幸なことになっても争うべきときは争うべきである。

手術に際して神経・血管損傷を起こすと、やはり過失責任が問われるので、細心の注意をするべきである。異型輸血、薬の間違い、量の間違いなどいろいろなリスクマネジメントをしないといけない。さらに整形で注意しないといけないのは左右の間違いで、場合によると傷害罪に、業務上過失傷害で訴えられる場合もあるので、十分に謝っておかないと刑事罰を受けるかもしれない。

いわゆる骨折のない外傷のときにレントゲンを撮るべきかどうか。やはり初診では写真を撮らないとトラブルになることがある。あるケースではガラスによる切創に対して創傷処理を受け、抜糸処置を別の病院で受け、どちらで

もレントゲン撮影されていなくて、9年後にガラスの摘出を受けた。裁判所はやはり初診時にレントゲン撮影すべきであったということで、精神的苦痛に対する慰謝料を医師側が支払うようにという判断をしている。切創であっても手の4方向撮影をすべきである。

最近ではDVTがふえており、術後の肺塞栓に関してガイドラインが出るまでは予防措置していなくても有責になっていなかったが、このガイドラインがでてからは必ず有責になるので、リスクファクターが高い人に対してはガイドラインに則った予防措置が必要になる。ガイドラインの中の負荷因子にギプス包帯が含まれていて、ピルを服用している人、肥満の人に対してはギプス包帯後の肺塞栓にも十分注意が必要である。

注射事故が多い。実際に正中神経とかを損傷し、その後にRSD、CRPSになると、結構有責になる。看護師に十分注意を促し、採血するときに患者さんが痛いと言ったら、そのことを必ずカルテに記録して、どの部位から採血したかなど必ずカルテに書いておく。謝るべき時は謝るべきである。CRPSが典型的だったらいいが、後医は余り安易にこの病名をつけないほうがよいと思われる。

整形外科では関節内注射の感染も原則無責だが、患者さんから文句を言って来た場合は誠意を持って対応して、過失ではないが、入院して治療が必要なときなどに、慰謝料や休業補償などの話をしないとめめることがある。民事裁判になったときは不可抗力と主張して、その過程で調停和解すべきである。

交通事故で医者が患者さんの詐病をそのまま認めて後遺症の診断書を書き、裁判で医師も負けている事例がある。患者さんの訴えは断わりにくい、適当な時期に医学的判断して患者さんに説明すべきである。

もう一つ大事なことはインフォームドコン

セントに関してで、患者さんに説明するときの情報提供として、病名と症状を十分説明し、検査、治療をする場合、その目的と内容を説明し、またそれによって予想される結果、それに伴う危険性も十分説明し、またその予想される医療行為以外に方法があるかどうかも説明して、そしてその検査、治療を受けなかったらどうということが起こるかということも説明しないと、患者さんへの十分な説明を尽くしたことになるという判決が出ているので、一つの方法のみを詳しく説明するのではなく、それ以外の方法についてや、その検査や治療をしなかったらどうなるかということも説明した上で、患者さんの同意を得ないといけないというのが今の御時世である。

我々の責務としてはよく勉強することと、同じ事故を繰り返さないこと、チーム医療を徹底することである。医療事故が起こった際に、隠さずにベストを尽くした結果が不幸な結果になったということを、誠意を持って説明して、逃げず・隠さず・ごまかさずで、明らかな過失は、陳謝は当然だが、即答せずに第三者に相談して、我々医師賠償責任保険とか学会保険に入っているのものでそれでカバーする方の相談をすべきと思う。

医療というのは患者さんの立場に立って行うこと、治療は医師と患者さんの共同責任のもとに行い、幾らベテランの医師であっても起こすかもわからないのが医療ミスだということ、余り先進医療のみに熱中せずに、それによって起こってくる負の医療にも目を向けて反省すること、やっぱりいつ我々がそういう場に巻き込まれかねないということなどに注意して、万が一患者さんに不幸な結果になれば、やはり患者さんがとても不満になるのは現実なので、幾ら不可抗力であっても、患者さんの気持ちは察するべきである。

(文責：学術担当 井尻慎一郎)

平成21年度 第2回理事会

(平成21年6月6日、クラウンプラザ神戸)

出席者：会長、副会長、理事、計 22名。

議 事

1. 会員動向

会員 463名 (JCOA 318名、日本整形外科勤務医会 100名)

2. 学術講演会の予定

平成21年：6月27日、10月24日、12月5日

平成22年：1月30日、4月3日、6月26日

3. 講演会共催

平成21年8月8日 骨粗鬆症フォーラム (ホテルオークラ)

4. 神戸市整形外科医会

神戸市整形外科医会設立の経緯と学術講演会の後援について

5. 「骨と関節の日」市民公開講座

テーマ：ロコモティブシンドロームの要因としての腰部脊柱管狭窄症

講 師：土井田稔神戸大准教授、森山徳秀兵庫医大講師

6. 次期理事会

平成21年8月29日

7. JCOA近畿ブロック会議 平成21年6月13日の予定

運動器リハビリテーションセラピスト新規取得の講習会を、近畿で開催してもらうように、日本運動器リハビリテーション学会に要望することについて、近畿ブロックでどれだけの希望があるか、調査する。

8. JCOA代議員会、各県代表者会議 平成21年5月31日

JCOAの予算、決算、会則変更、表彰者などについて。

JCOA名誉会員について、兵庫県関連では、吉良貞伸前JCOA理事長と中谷正臣元兵庫県整形外科医会会長が推挙、承認された。

JCOA法人化について。

整医協の組織率低迷について。

平成22年診療報酬改定におけるJCOA要望事項など。

9. JCOA学術集会、研修会

JCOA学術集会（愛媛）：平成21年7月18日～20日

JCOA研修会（佐賀）：平成21年10月10日～12日

10. 運動器リハビリテーション資格継続研修会

平成21年7月26日 兵庫県医師会館

11. 日本整形外科勤務医会会報の紹介

12. 医会だより78号の予定

記事の予定と原稿、協賛広告の収集状況について。

会長巻頭言、新役員・新入会員の紹介、医会役員委員名簿、保険審査員名簿、役員会・学術講演会・理事会・総会のサマリー、当会情報システムの紹介記事、整医協の紹介記事、兵庫県・静岡県ジョイントミーティング、会員寄稿、ラジオ関西・神戸新聞の記録。

13. 医会メーリングリストサーバー移行

同じijjのメーリングリストサービスでサーバーを移行し、2009年5月より稼働し、旧サービスは5月末で解約した。

新メーリングリスト投稿アドレス：hcoa@ijjnet.or.jp

14. その他

当会講演会での非会員の会場費の扱いについて

整医協組織率と会費納入手段について

学術講演会の開催回数について

各委員会開催について

15. 県医師会叙勲記念パーティ出席の件

16. 平成24年JCOA学術集会開催について

兵庫県は学術を担当する。



平成20年度 第6回JCOA理事会 および整医協執行委員会

(平成21年2月22日、東京)

(速報版なので、JCOAの雑誌に正式に掲載される内容と異なることがあります。)

出席者：〈敬称略〉

執行部：藤野、浦門、田辺、三宅、原田

理事：吉村、本田、三宅信、佐々木、柴田、子田、山内、西岡、前中、山下、坂田、
斎藤、山本、戸次、大野、麻生、太田（副議長）、中川（監事）

特別出席者：川岸（日整会理事）、立入（日整会理事）、早石（日整会監事）、
（4名） 久保谷（会則等検討委員会委員長）

欠席者：加藤、小玉、二山、安井、角南
（5名）

●理事長挨拶

2/15整医協研修会→盛況、年に2回を予定している

●審議事項

1. 平成20年度入会承認および退会状況について（三宅信昌）

（平成21年1月31日現在）5,829名（名誉会員89名）、年間100名程度増加

2. 名誉会員候補者の推薦について（藤野）

有資格者11名を議論→北海道地区から推薦のなかった1名以外全員 承認。
本人の意思確認後、次回総会で発表

3. 第85回日整会学術総会会長候補者への質問状について（藤野）

3名の候補者への、質問状送付

（専門医制度についての見解、柔整など医療類似行為に対する見解、保存的加療の診療報酬などについて）

→JCOA選出代議員への報告

* 日整会選挙の問題点：（JCOA MLでも久保谷先生から指摘あり）

代議員のみの選挙（役員は選挙権なし）

投票の委任は認められない、水曜の代議員会への出席が必要など、選挙結果によっては、異議の出る可能性あり

4. 外用製剤協議会ポスター（変形性膝関節症）の配布について（藤野）

会員への配布承認→膝痛に関するポスターを薬剤会社担当者が持参する

5. 平成21年度予算案について（藤野）

事務局から科目別積算根拠の説明→各委員会からの予算案の提出を促す

6. 施行細則第6条について（藤野）

80歳以上の会員（135名）の会費免除について：

申請書式を作成し、会員個人からの申請を原則に、現役の80歳以上の会員には、できれば申請を遠慮していただければ…高齢化に伴い該当者増加で会費収入の減がおおきくなる
名誉会員に議決権がないことを勘案し、80歳以上会費免除者の議決権の取り扱いを会則等検討委員会再検討することとした

7. 事務局で各種委員会等を開催することについて（藤野）

ここ4年間に会議費が509万円増：

経費節減のため、委員会のホテル開催をやめて、事務局で開催を検討
そのため、現事務局の2Fに新たに、会議室を借りる方向で
(一回の会場費(12-15万円)×63回>40万/月のテナント料

8. 一般会計繰越金の学術振興基金への振替について（柴田）

経理処理上の問題で、約5,000万円種目変更を承認

9. 平成21年度以降の代議員会出席者の旅費について（柴田）

JCOAの財政上の問題から、各県での負担でお願いする案
過去の慣習、旅費規程との整合性に疑義有り→会則等検討委員会で再検討。

*平成20年度第2回代議員会旅費実績（平成20年5月11日開催）
役員 568,000円+代議員 2,737,000円=3,305,000円

10. JCOA生命共済の事務処理のアウトソース化について（佐々木）

3回/週での派遣社員の雇用（173万）を承認（6月1日から）
しかし、仕事量を確認し、今後雇用形態の見直しが必要

11. 日本臨床整形外科学会学術研究助成について（吉村）

年間原則1件（100万）×2年以内

3月のJCOA NEWSで募集、5月末締め切り 6月の理事会で決定

12. 法人化について（久保谷）

現在までの法人化に関する議論で、

代議員制を採用し法人化する方向で合意がなされている。

会則等検討委員会委員長 久保谷先生より、詳細な報告

岩手県私立病院協会の一般法人化への資料説明

議論：

→定数、選出方法、選挙、権利、役員の選出法、総会日時、設立社員、日医モデル、公益性の担保、収益事業の扱い、法人移行 など

まず、税理士の見解を求めること、

法人化の時期については、今回見送った場合、来年選挙の年であり、来年度の法人化は不可能となるため、理事会の採決で今年度実施する意見が多数となる

→5月の代議員会、総会で案の提出の上、7月の愛媛で臨時総会を行い決定

講演・役員会・理事会など

13. 雑誌へ学術集會会長の巻頭言の掲載および会報の学術集會報告について
雑誌、会報、JCOAニュースの掲載内容の統一が移行期で混乱し、京都、青森と福井とでのJCOA学会で学会長の巻頭言、学会報告の扱いが違った。
→編集委員会にて再確認する
14. 「介護保険における通所リハビリを行うためには」の会員への広報について（大野）
（理事MAIL参考）4月から、短時間通所リハへ参入するハードルは高い
参入施設が増えることは、来年度の医療保険改定に悪影響を及ぼす可能性大
15. 保険者からの再審査請求に関するアンケートの実施について（大野）
9月12日（土）に開催予定のJCOA保険審査委員会のテーマのひとつとして、保険者からの再審査請求を取り上げることとなった。
→再審査事例を集めるためアンケートが提示され承認された。
16. 病院・診療所職員の給与現状調査アンケートの実施について（田辺）
過日の県代表者で出された質問から今回のアンケートが提示され実施が承認
17. 事務局からMLに流すメール〔J-let〕に企業宣伝を入れることについて（本田）
島津製作所医療機器事業部からの申しであり、広告料は今後交渉することで了承
18. 「運動器疾患/骨関節フォーラム」の後援について
株式会社メジカルビュー社からの申し入れ
平成20年度全国9会場で開催、
平成21年度全国10会場で開催予定→平成21年度も後援が了承
19. 雑誌の著者抄録利用許諾依頼（独立行政法人科学技術振興機構）について
特に異論なし。編集委員で決定することになった

●各種報告事項

1. 平成20・21年度各種会議等実施状況（浦門）
2. 代議員と各県代表者の兼任について（麻生）
〈会則第25条2 各県代表者は、代議員の1人が兼ねることができる。〉
18県で兼務していない。
代議員会議と県代表者会議同一日同一時間に開催する合同会議は会則上不適切であると結論された。
→会則等検討委員会で検討継続
3. 第83回日整会学術総会（平成22年）パネル、シンポジウム応募について（吉村）
3題 地域医療における整形外科診療所の役割 澤田 出 先生他
運動器検診体制の現状と未来 柴田 輝明 先生他
後期高齢者の運動器不安定症対策 佐藤 公一 先生他
4. 第82回日整会学術総会（平成21年）“特別企画展示”について（吉村）
学校における運動器検診の現状 柴田 輝明 先生

5. 第22回学術集会（愛媛）の準備状況の報告（山本）
演題54題応募 更なる募集要請あり（！！兵庫県からの演題なし！！）
6. 平成21年度事業日程（案）について（藤野）
理事会〔6回〕
5月31日（日）代議員会、総会、各県代表者会議
7月19日（日）から20日（月） 第22回JCOA学会〔愛媛〕 臨時総会
9月12日（土）JCOA保険審査委員会議
9月13日（日）全国保険審査委員会議
10月10日（土）から12日（月） 第36回JCOA研修会〔佐賀〕
7. 各種委員会年次報告書および理事長諮問事項に対する中間報告提出について（藤野）
→平成21年3月31日までに提出指示
8. 平成20年度「運動器の10年」日本委員会会員活動状況報告について（藤野）
来年で終了 シンポジウム〔トップアスリートの障害予防とコンディショニングの実態〕
が平成21年度2月15日スカイAで放映
9. 「運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟」報告（藤野）
 - 要支援を要介護からはずせないか
 - 制限日数を脳血管疾患等リハと同じ180日とする
 - 運動器リハ点数の底上げ
 - 運動器健診事業の早期実施
 - 運動器に関する施策の総合的展開対策室の設置を議連に訴えていく
10. 平成20年度病院部会全体会議及びJCOA研修会（病院部会主催）
(平成21年2月8日) (三宅)
「平成20年度診療報酬改定のその後と最近の医療情勢の流れ」
全日本病院協会会長 西澤 寛俊 先生
「騙されてはいけない日本に不要なDPC制度」
愛媛大学教授 石原 謙 先生
の講演とシンポジウムが実施された
11. 市民公開シンポジウム（健康応援フェスタ09）急増する変形性膝関節症について
日整会理事長中村耕三、藤野理事長ほか出席
ロコモ、ロコトレ、ロコチェックなどが説明される
★NHKで4月6, 7, 8日放送される★
<日整会から、ロコモ、ロコトレ、ロコチェック等の解説文が配布されるとのこと>

●各委員公等報告事項

1. 会則等検討委員会（平成20年10月21日～11月4日）（麻生）
各種文言の変更

講演・役員会・理事会など

2. 医業経営委員会（平成20年12月13日）（藤野）
＜昨年末に報告済み＞
3. 「運動器の10年・骨と関節の日」委員会（平成21年1月18日）（小玉）
来年度の「骨と関節の日」のテーマは「腰部脊柱管狭窄症」
4. 介護保険・在宅医療検討委員会、運動器リハビリテーション検討委員会合同委員会
（平成21年1月18日）（坂田・子田）
5. 介護保険・在宅医療検討委員会（平成21年1月18日）（坂田）
短時間型通所リハの採算性
6. 運動器リハビリテーション検討委員会（平成21年1月18日）（子田）
介護予防事業〔要支援1,2〕は介護保険ではなく、医療保険で行うべきでは？
7. 社会保険等検討委員会（平成21年1月25日）（大野）
＜大野先生からの資料参考＞
8. スポーツ委員会（平成21年2月1日）（麻生）
9. 医療システム委員会および日整会広報・渉外委員会、医療システム委員会合同委員会
（平成21年2月1日）（坂田）
＜山根先生からの報告参照＞
来年度の公開シンポジウムの開催に向けて
10. 編集委員会（平成21年2月7日）（子口）
11. 経理委員会（平成21年2月14日）（柴田）

●整形外科医政協議会審議事項

1. JCOA分担金の引き上げについて（藤野）
整医協としての事務量の増加→JCOA分担金を10%から15%へUP→了承
2. 第22回参議院議員通常選挙（平成22年7月予定）の西島英利参議院議員の推奨について
（藤野）→了承

●整形外科医政協議会報告事項

1. 各県別加入状況（藤野）
2. 執行部の動き（藤野）
3. 平成20年度整形外科医政協議会研修会（平成21年2月15日）（藤野）
＜J-letにも報告あり＞

文責：学術担当 山下 仁司

平成21年度 第1回JCOA理事会 および整医協執行委員会

(平成21年4月19日、東京)

(速報版なので、JCOAの雑誌に正式に掲載される内容と異なることがあります。)

出席者：(25名) 理事長、副理事長4名、理事17名、監事、議長、副議長
特別出席者：(4名) 日整会理事3名、整医協参与1名
欠席者：(2名) 理事、監事

●審議・報告事項

1. 平成20・21年度入会承認および退会状況について (三宅信昌)
平成21年3月31日現在 会員数 5,898名 (正会員 5,809名、名誉会員 89名)
2. 平成20年度会計監査結果について (柴田)
雑誌、会報印刷費、名簿発行費が高騰 予算費各337万円、718万円増
名簿IT化CDR配布、ホームページ閲覧などの手段が論議された
毎年の次期繰り越し金約1,600万円だったのが今年度は160万円と減少
期末正味財産合計額 1億2,603万8,929円
→異議なく了承された。
3. 平成21年度予算について (柴田)
1億5,773万円の規模 前年より232万円増
収入は会費収入、賛助会費、広告費他
整形外科医政協議会分担金比率10%から15%にアップ
(481万円から745万円となる)
経費節減の為、理事会も各委員会同様会議をホテルから事務局2階で行う方向で了承
(1回40万円から50万円の節約となる)
(人数収容他可能か事務局で検討することになった)
会費値上げの時期だが現状では会員の理解は困難であろう
理事会が節減の姿勢を示すことが大切
4. 平成21年度事業計画(案) および事業日程(案) について (浦門)
 - 1) 理事長諮問事項の検討と対策
 - 2) 診療報酬改定に向け、整形外科技術料等の適正な検討と対策
 - 3) 運動器リハに関する調査研究の実施と対策
 - 4) 整形外科医療のエビデンスの確立
 - 5) JCOA法人化のための情報収集と対策

- 6) IT関連事業の推進
 - 7) 医療類似行為に対する情報収集と対策と対応
 - 8) 「運動器の10年」に関するJOAとの協力と調査研究の実施
 - 9) 労災保険、自賠責に関する諸問題の調査と対応
 - 10) 地区代表者、県代表者との連携強化
 - 11) 「骨と関節の日」「骨と関節の月間」にちなんだ活動の企画と実践
 - 12) 危機管理の諸問題の調査と対応
 - 13) 少子高齢化に対しての施策と研究
 - 14) 児童虐待の調査
 - 15) 国際親善国際協力
 - 16) 整形外科医政協議会との連携
- 以上 異議なく承認

5. 各種委員会年次報告書、理事長諮問事項に対する中間報告および委員会開催結果報告等

- (1) 医業経営委員会（藤野）
 - (2) 病院WG（三宅）
 - (3) 有床診WG（平成21年4月5日）（斉藤）
 - (4) 無床診WG（加藤）
 - (5) 経理委員会（柴田）
 - (6) 学術研修委員会（吉村）
 - (7) 編集委員会（子田）
 - (8) 社会保険等検討委員会（大野）
 - (9) 外内保連WG（大野）
 - (10) 産業医委員会（平成21年3月22日）（斎藤）
 - (11) 自賠・労災委員会（山下）
 - (12) 「Q&A交通事故診療ハンドブック」編集WG（平成21年3月15日）（山下）
 - (13) 医療システム委員会（坂田）
 - (14) 会則等検討委員会（平成21年3月8日）（麻生）
 - (15) 「運動器の10年・骨と関節の日」委員会（小玉）
 - (16) スポーツ委員会（麻生）
 - (17) 広報・福祉委員会（佐々木）
 - (18) IT戦略委員会（本田）
 - (19) 医療安全・倫理委員会（平成21年3月8日）（山内）
 - (20) 運動器リハビリテーション検討委員会（子田）
 - (21) 学校保健検討委員会（平成21年3月7日）（柴田）
 - (22) 介護保険・在宅医療検討委員会（平成21年1月18日）（坂田）
- 各、担当理事から資料をもとに報告（詳細は、略）

6. 無床診WGの担当理事の追加について（藤野）

→加藤 勝洋理事 長期病欠のため 執行部検討

7. 第85回日整会学術総会会長候補者への質問状に対する回答について（藤野）

→回答内容提示され、各理事の意向が集約された。

結果は代議員へ参考資料として送付

8. 一般社団法人化について（藤野）

(1) 法人化に伴う課税について（柴田）

(2) 法人化に伴うJCOA会計の閉鎖について（柴田）

(3) 法人化の経緯

(4) 法人化のメリット・デメリット

(5) 法大化に向けて定款Q & A（麻生）

(6) 法人化移行の日程表（一例）

(7) 代議員制の可否について

(8) 代議員の定数について

(9) 役員の任期について

(10) 各種委員会等委員の任期について

(11) 学術集会および研修会の名称と回数のカウントについて

(12) ニュース・会報・雑誌の名称と号数のカウントについて

(13) 周年記念誌について

→などを再度検討

移行に伴う課税などデメリットが不詳

他の法人化の状況をもてからとの意見があり、次回5月31日代議員会の事前資料に含めないこととなった。

再度会則等検討委員会で会計専門家と話を詰め、持ち回り理事会にかけてから代議員会、総会へ提案するか決すことになった。

（後戻りです）

9. 平成21年度代議員会、総会、各県代表者会議の日程および議題案について（藤野）

→平成21年5月31日（日）場所 品川プリンスホテルメインタワー

11時から12時15分 代議員会

13時から14時 総会

14時30分から15時30分 各県代表者会議

10. 名誉会員の受諾について（藤野）

→10名から受諾の回答有り

角南義文、米満弘之、吉良貞伸、那須輝夫、中谷正臣、久保真治、
細川外喜男、吉田元久、喜多正鎮、太田和夫（敬称略）

講演・役員会・理事会など

11. 「Q & A 交通事故診療ハンドブック」編集WGの特別出席者について（山下）
→羽成 守弁護士 参加了承 交通費5000円支給
12. 施行細則第6条の別に定める様式について（麻生）
会費免除申請書の提示→異議なし
13. 職員就業規則の改正（定年延長）について（麻生）
→異議なし
14. シンポジウム「日本の医療制度を考える－運動器疾患の現状と課題－」（課題）の開催について（坂田）
→予算が高額、費用対効果が不明瞭、趣意書内容に問題がある、趣意書とテーマとに差異がある
シンポジスト（日医、厚労省官僚）がこのテーマで論議可能か？
従来の柔整審査委員懇談会はどうするのか？
公開とするのか？ 柔整代表を呼んでも良いのでは？
参加者がどのようになるか不明である。マスコミを呼ぶが確かなことか？ 講師料10万円の規定に反する講師招聘（勝谷誠彦氏）
などの意見がでた。
→今回承認得られず。医療システム委員会で再検討し次回理事会に再提出となった。
15. テレビ会議開催時の近傍旅費の支給について（柴田）
→旅費会議場費削減の協力に対する後押しとして
16. 理事会を事務局2Fの会議室で開催することについて（浦門）
→承認
17. 平成20・21年度各種会議等実施状況（浦門）
→一覧表で説明あり
18. 開業整形外科の将来に関するアンケート（継承・総合医について）結果（佐々木）
→ホームページで一般公開了承
19. 日整会通常総会則議長および開票立会人の推薦について（藤野）
→副議長：齋藤義郎 開票立会人：久保谷康夫
20. 平成20年度九州ブロック会議（平成21年3月15日）（大野）
→議事録を基に説明があった

●持ち回り理事会結果（藤野）

1. 臨時総会の開催時期の変更について（平成21年3月16日）
2. 臨時代議員会及び臨時総会の開催時期について（平成21年3月27日）

【参考資料】

1. 中医協資料（浦門）
2. 平成20年度第6回理事会議事録（事務局素案）（平成21年2月22日）

● 整形外科医整協議会審議事項

1. 平成20年度予算執行状況および会計監査結果について（柴田）
→了承

● 整形外科医整協議会報告事項

1. 各県別加入状況（藤野）
→引き続き、加入率UPの努力をお願いする。
2. 執行部の動き（藤野）
→22年度改定に向けての、陳情等
3. 第22回参議院議員通常選挙（平成22年7月予定）の西島英利参議院議員の推薦について（藤野）
→前回承認済み、政党から御礼有

文責：学術担当 山下 仁司

平成21年度JCOA代議員会、総会

(平成21年5月31日、東京)

(速報版なので、JCOAの雑誌に正式に掲載される内容と異なることがあります。)

兵庫県からの出席者：鄭、渡辺、橋本、坂田、(代議員) 山下 (理事)

昨年までは7月の日本臨床整形外科学会学術集会(今年は愛媛)での総会開催であったが、理事会、委員会活動のブランクを少なくするため今年から5月に最高議決機関である総会が開催されることになった。

●藤野理事長挨拶(上記内容：総会開催月の変更など)

●平成20年度物故会員(31名)に黙祷

●報告出席者、発言者：いずれも敬称略

平成20・21年度入会承認および退会状況について(三宅信昌)

平成21年3月31日現在 会員数 5,898名(正会員 5,809名、名誉会員 89名)

兵庫県：正会員 309名、名誉会員 2名、合計 311名(全国4位)

賛助会員：113名(社)

●議 題

1. 第1号議題 平成20年度実施事業報告(浦門)

理事会(7回)、各種会議、委員会報告、雑誌、会報、JCOAニュース、理事長諮問事項など(紙面報告) (承認)

2. 第2号議題 平成20年度決算・監査報告(柴田)

収入：1億6,446万円、支出：1億6,286万円(繰越金：160万円)

期末正味財産合計額 1億2,603万8,929円

→質問で「会員名簿発行費用が718万円超過であり、無駄ではなかったか？」

今後はCD化、ないしホームページ閲覧などの手段を考えて経費削減」の提案があり、製本名簿の作成は今回限りになりそうです。

この決算に対し監査報告がありました。(中川、二山)

(承認)

3. 第3号議題 平成21年度事業計画(案)(浦門)

1) 理事長諮問事項の検討と対策

2) 診療報酬改定に向け、整形外科技術料等の適正な検討と対策

3) 運動器リハに関する調査研究の実施と対策

4) 整形外科医療のエビデンスの確立

- 5) JCOA法人化のための情報収集と対策
 - 6) IT関連事業の推進
 - 7) 医療類似行為に対する情報収集と対策と対応
 - 8) 「運動器の10年」に関するJOAとの協力と調査研究の実施
 - 9) 労災保険、自賠責に関する諸問題の調査と対応
 - 10) 地区代表者、県代表者との連携強化
 - 11) 「骨と関節の日」「骨と関節の月間」にちなんだ活動の企画と実践
 - 12) 危機管理の諸問題の調査と対応
 - 13) 少子高齢化に対するの施策と研究
 - 14) 児童虐待の調査
 - 15) 国際親善国際協力
 - 16) 整形外科医政協議会との連携 (承認)
4. 第4号議案 平成21年度収支予算(案)(柴田)
1億5,773万円(前年より232万円増)
整形外科医政協議会分担金比率10%から15%にアップ
(481万円から745万円となる) (承認)
5. 第5号議案 会則変更(麻生)
・第17条第5項 監事職務：一般社団法人に関する法律に基づくものに変更
・JCOA学会会長→日本臨床整形外科学会学術集会会長に変更：JCOA学会名称変更による (承認)
6. 表彰
- (1) 学 術 賞 石黒 隆 先生(神奈川県)
 - (2) 学会功労賞 清水完次朗 先生(千葉県)
 - (3) 平成20年度「骨と関節の日」優秀ポスター及び新聞広告の表彰
ア ポスターの部：最優秀賞 東京都
優秀賞 山口県、長崎県、岩手県
イ 新聞広告の部：最優秀賞 東京都
優秀賞 北海道、沖縄県、岐阜県
7. 名誉会員の紹介
角南義文、米満弘之、吉良貞伸、那須輝夫、中谷正臣、久保真治、細川外喜男、吉田元久、喜多正鎮、太田和夫 (敬称略)
兵庫県より吉良貞伸先生、中谷正臣先生が承認されました。

文責：坂田 敏郎

第53回JCOA近畿ブロック会

(平成21年6月13日、京都)

当番監事：京都@牧陽一先生

参加者：京都7名、滋賀5名、大阪7名、兵庫5名、奈良4名、和歌山2名

<報告事項>

1. JCOA理事会・委員会報告（大阪@前中）

09-2-22 09-4-19の理事会報告（山下既報）

JCOA法人化問題の経緯、整医協加入率向上など

無床診レセプト調査資料提供

2. JCOA学術研修委員会・学術集会（愛媛）プログラム委員会報告（大阪@長谷川）

愛媛の学会の進捗状況（4会場、166題、会員外演題対応・投稿規程）

学術助成金申請2件

査読委員会（福井@学術集会 投稿64本：受理59本、未受理5本）

神奈川、長崎の学術集会の進捗状況

3. 代議員会・総会・県代表者会議（09-5-31）報告（大阪@前中）

代議員会旅費、整医協の動き（坂田既報）

4. 「骨と関節の日」（運動器の10年）の行事

各県の行事の報告

滋賀：講演会、大阪：4ヶ所で講演会、兵庫：講演会

奈良：整形外科部会の主催、和歌山：市民講座（脊椎内視鏡）

京都：市民講座

5. 24年JCOA学術集会（近畿）の進捗状況（滋賀@西岡）

そろそろ、組織化の検討する

<協議事項>

1. 近畿ブロック会議則について（兵庫@山下）

第3条（構成）と第10条（議決）の文章の再確認

会則とするか会議則とするかの議論

→前回の決定どおり、このままとする

2. JCOA自賠労災委員会の話題から（兵庫@山下）
人身傷害補償保険について
任意一括請求の未集金問題
外傷性頸部症候群と脳脊髄圧減少症（山下既報）
3. 柔整問題について（兵庫@山根）
社会保険組合からの施術部位の確認の文書（コクヨ健保組合）
医師国保の柔整療養費資料
JCOAシステム委員会動向
4. セラピスト資格継続研修会（京都@高橋）
今後の資格継続研修会の開催日程について
5. セラピスト新規資格取得研修会の開催について（大阪@栗本）
100名以上の参加予定で近畿開催が可能
各県に新規希望者の人数把握を依頼した
6. 次回、JCOAブロック会議（54回）の日程
和歌山が主催で、大阪周辺で11月頃の開催予定

文責：学術担当 山下 仁司

兵庫県整形外科医会・保険審査員懇談会

日時：平成21年7月2日

場所：ホテルオークラ神戸

出席者：社保、国保、柔整社保、柔整国保、労災 各審査委員

兵庫県整形外科医会 会長、副会長

杉本整形外科（西宮市）

杉本 欣也

毎年の夏・冬初めに開催して国保、社保、労災、柔整、の整形外科審査員が集い審査に関して協議し意見統一を図っています。

平成21年7月2日に本年第1回の当会における協議内容を簡単に広報します。

1. 基本診療料0の疾患別リハビリ請求について

これは他府県保険者からの再審査請求分を近畿厚生局経由、不適正を指摘されました、つまり診察回数0でリハビリ点数のみの請求レセプトです。審査機関で調査しますと4病院から同様のレセプトが数ヶ月に亘ってありました。初診・再診料など基本診療料が無く特掲診療料のリハビリ請求は矛盾するというのが厚生労働省、審査機関中央からの返答でした。当懇談会でもやはりこの件に関しては過去に医療監査が入った経過もありリハビリ通院患者には必ず診察を行うようにしているという意見がありそのようにすべきと言う結論でしたので当会員も今後も実態としてそのように診察ーリハビリを行いそれに沿っての保険請求をしてください。

2. デイスポ製剤のヒアルロン酸Na関節内注射施行時の局麻剤併請求について

これは以前より問題とされ兵庫県国保ー社保保険審査員協議会で議題にも上げられこの

懇談会での結論に委ねるとされていました。

デイスポ製剤でするので感染危険性からこの中には他注射剤を混入すべきでない、医学的にも必要性が乏しいのではないか、などの意見より今後は認めがたいという方向性で対処していくこととします。

3. 抗TNF α 抗体療法（レミケード、エンブレルなど）関節リウマチ患者における多項目検査について

基本的にはその治療法のリウマチ学会ガイドラインに沿った形で、ただし真菌症検査、結核精密検査、など一般検査以外では疑い病名を記載すべきではという意見でした。また保険審査ではこの患者が抗TNF α 抗体療法を行うのかどうかレセプトでは不明の場合もあり詳記をすべきです。また関連してリウマトレックスの1週間投与量制限は厚生労働省が厳しく文書注意を出しましたのでこれを厳守すべきでしょう。またレミケード投与量（バイアル本数）、投与間隔も保険者は厳しく目を光らせていますのでご留意を（近々にこれらも変更されるそうですが正式に決定するまでは査定対象になりますので）

その他の細かな懇談事項は省略いたします。

編集後記

5月に日本で最初の新型インフルエンザが神戸で発生し会員の先生方もいろいろ大変だったと思います。今回寄稿していただいた、吉岡先生の「新型インフルエンザの1週間」を読ませていただき、その臨場感あふれる内容に、自分の医院での様子と重なる思いがしました。

1月に塚西先生から広報担当理事を受け継いでから最初の医会だよりです。この数ヶ月間、原稿を少しずつ集め、広告を依頼していく中で、今までの塚西先生のご苦勞がよく分かりました。塚西先生と同じようにきっちりとはできないと思いますし、至らぬ点、間違っただ点も多々あると思いますが、今までの医会だよりに恥ずかしくないように全力で編集・発行に携わっていく所存です。なにとぞ先生方のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

皆様方からの原稿をお待ちしています。どんなことでも結構です。エッセイ、紀行文、趣味、箴言、提言など是非ご意見をご投稿ください。

広報担当理事：井尻慎一郎

兵庫県整形外科医会 医会だより

No.78 2009年8月1日発行

発行者：兵庫県整形外科医会

〒654-0053 神戸市須磨区天神町4-4-35

清本整形外科

代表者：鄭 仁秀

TEL (078)732-1213 FAX (078)732-5389

印刷所：王子印刷株式会社

〒673-0029 明石市大道町2丁目4番1号

TEL (078)928-2771(代) FAX (078)928-2870



「運動器の10年」世界運動

科研製薬は「運動器の10年」世界運動を推進し、QOLの向上に貢献してまいります。

ヒアルロン酸と関節痛の情報サイト

<http://e-kansetsu.jp/>

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】

○変形性膝関節症、肩関節周囲炎

○慢性関節リウマチにおける膝関節痛

(下記(1)~(4)の基準を全て満たす場合に限り) (1)抗リウマチ薬等による治療で全身の病勢がコントロールできていても膝関節痛のある場合 (2)全身の炎症症状がCRP値として10mg/dL以下の場合 (3)膝関節の症状が軽症から中等症の場合 (4)膝関節のLarsen X線分類がGrade IからGrade IIIの場合

【用法・用量】

○変形性膝関節症、肩関節周囲炎

通常、成人1回1アンブル又は1シリンジ(ヒアルロン酸ナトリウムとして1回25mg)を1週間ごとに連続5回膝関節腔内又は肩関節(肩関節腔、肩峰下嚢液包又は上腕二頭筋長頭腱腱鞘)内に投与するが、症状により投与回数を適宜増減する。

○慢性関節リウマチにおける膝関節痛

通常、成人1回2.5mL(1アンブル又は1シリンジ、ヒアルロン酸ナトリウムとして1回25mg)を1週間毎に連続5回膝関節腔内に投与する。

本剤は関節腔内に投与するので、厳重な無菌的操作のもとに行うこと。

【使用上の注意】 抜粋

- 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1)他の薬剤に対して過敏症の既往歴のある患者 (2)肝障害又はその既往歴のある患者[肝障害の既往歴のある患者においてAST(GOT)、ALT(GPT)異常値例がみられた。] (3)投与関節部に皮膚疾患又は感染のある患者[本剤は関節腔内に投与するため。] 2. 重要な基本的注意

(1)変形性膝関節症、慢性関節リウマチにおける膝関節痛については、投与関節の炎症又は関節液貯留が著しい場合は、本剤の投与により局所炎症症状の悪化を招くことがあるので、炎症症状を抑えてから本剤を投与することが望ましい。(2)本剤の投与により、ときに局所痛があらわれることがあるので、投与後の局所安静を指示するなどの措置を講じること。(3)関節腔外に漏れると疼痛を起こすおそれがあるので、関節腔内に確実に投与すること。(4)慢性関節リウマチにおける膝関節痛については以下の点に注意すること。1)本剤による治療は原因療法ではなく局所に対する対症療法であるので抗リウマチ薬等と併用すること。本剤は湯然と運用する薬剤ではない。2)抗リウマチ薬等の治療により全身の病勢がコントロールできていても膝関節痛がある場合、当該膝関節腔内に投与すること。3)膝関節以外の使用経験はなく、他の関節については有効性・安全性が確立していないため本剤を投与しないこと。4)慢性関節リウマチでは膝関節の器質的変化が高度なものは有効性・安全性が確立していないため本剤を投与しないこと。

3. 副作用

総症例9,574例中、副作用が報告されたのは50例(0.52%)73件であった。また、臨床検査値には一定傾向の変動は認められなかった。変形性膝関節症については、

7,845例中にみられた副作用45例(0.57%)68件の主なものは、局所疼痛37件(0.47%)、腫脹14件(0.18%)、関節水腫3件(0.04%)であった。肩関節周囲炎については、1,729例中にみられた副作用5例(0.29%)5件の主なものは、局所疼痛4件(0.23%)であった。(アルツ再審査終了時承認申請資料及び再審査申請資料)

(1)重大な副作用

ショック:ショック症状(頻度不明^{注1)})があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

以下のような症状が認められた場合は適切な処置を行うこと。

分類	頻度	0.1%未満	0.1%未満	頻度不明 ^{注1)}
過敏症 ^{注3)}			蕁麻疹等の発疹、痒痒感	浮腫(顔面、腕、脚等) ^{注1)} 、顔面発赤 ^{注1)}
投与関節		疼痛(主に投与後の一過性の疼痛)、腫脹	水腫、発赤、熱感、局所の重さ	関節周囲のしびれ感 ^{注2)}
肝臓				AST(GOT)上昇 ^{注2)} 、ALT(GPT)上昇 ^{注2)} 、Al-P上昇 ^{注2)} 、LDH上昇 ^{注2)}
血液				好酸球増多 ^{注2)} 、ヘマトクリット低下 ^{注2)} 、白血球増多 ^{注2)}
その他				嘔気・嘔吐 ^{注1)} 、発熱 ^{注1)} 、倦怠感 ^{注2)} 、蛋白尿 ^{注2)} 、尿沈渣異常 ^{注2)} 、動悸 ^{注2)} 、ほてり ^{注2)} 、総蛋白低下 ^{注2)} 、BUN上昇 ^{注2)}

注1)自発報告により認められている副作用のため頻度不明。
注2)慢性関節リウマチにおける膝関節痛適用をもつ頻度により認められている副作用のため頻度不明。
注3)発現した場合は投与を中止し、適切な処置を行うこと。

関節機能改善剤 (ヒアルロン酸ナトリウム関節内注射液)

【処方せん医薬品】 注意—医師等の処方せんにより使用すること

アルツ[®]関節注25mg

【処方せん医薬品】 注意—医師等の処方せんにより使用すること

アルツ[®]ディスポ[®]関節注25mg

ブリストア[®]包装内滅菌済

特許登録—日本国特許第3831505号;第3845110号(医療用滅菌包装における滅菌方法)

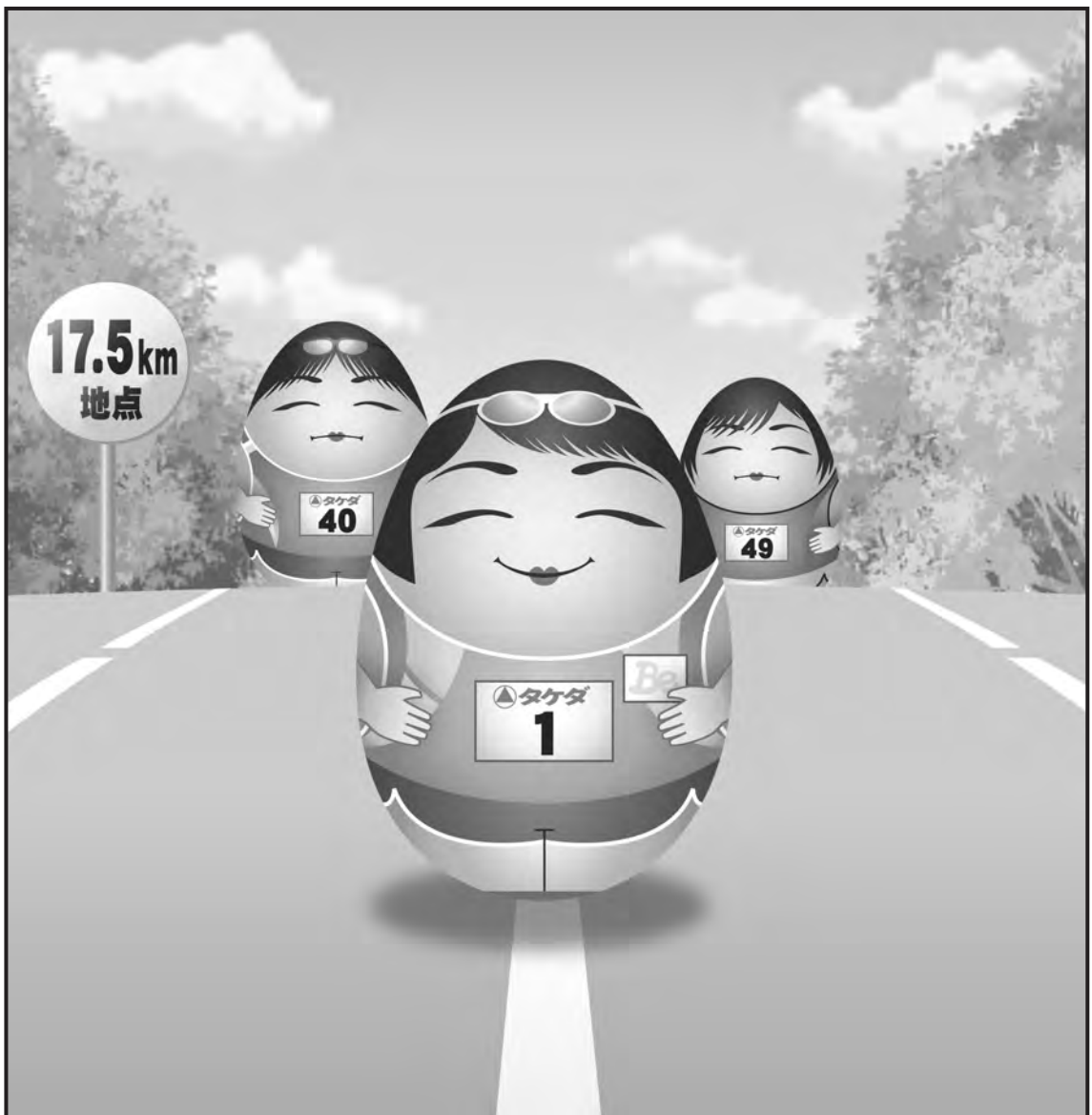
- その他の使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。
- 薬価基準収載

製造販売元 生化学工業株式会社 東京都千代田区丸の内1丁目6-1

発売元 (資料請求先)

科研製薬株式会社

〒113-8650 東京都文京区本駒込2丁目28-8



骨粗鬆症治療剤・骨ページェット病治療剤

ベネット錠[®] 17.5mg

リセドロン酸ナトリウム水和物錠

薬価基準: 収載

劇薬・指定医薬品・処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



〔資料請求先〕

▲ 武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号
<http://www.takeda.co.jp/>

(0902)



旭化成ファーマ

骨粗鬆症治療剤

薬価基準収載

エルシトニ[®]注20S
エルシトニ[®]注20S ディスポ

Elcitonin[®] Inj. 20S Elcitonin[®] Inj. 20S Dispo

劇薬、指定医薬品、処方せん医薬品[※]（エルカトニン注射液）

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等、詳細については製品添付文書をご参照下さい。

製造販売元（資料請求先）

旭化成ファーマ株式会社

医薬学術部：〒101-8101東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
 URL <http://www.asahi-kasei.co.jp/iyaku/>

H20.05

 astellas

新発売



骨粗鬆症治療剤（ミノロン酸水和物錠）

薬価基準収載

ボノテオ錠1mg

劇薬、処方せん医薬品
 （注意—医師等の処方せんにより使用すること）

Bonoteo[®]

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 **アステラス製薬株式会社**
 東京都板橋区蓮根3-17-1

〔資料請求先〕本社 / 東京都中央区日本橋本町2-3-11



エーザイの骨粗鬆症関連製品

骨粗鬆症治療剤／骨ページット病治療剤

アクトネル[®]錠17.5mg

リセドロン酸ナトリウム水和物錠 ●薬価基準収載

郵薬 処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

骨粗鬆症治療用ビタミンK₂剤

グラケ[®]カプセル15mg

メナテレン[®]製剤

●薬価基準収載

低カルボキシル化オステオカルシキット

検体検査実施料収載

血清中低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)測定用医薬品

ピコルミ[®]ucOC

電気化学発光免疫測定法

※販売提携品

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



エーザイ株式会社

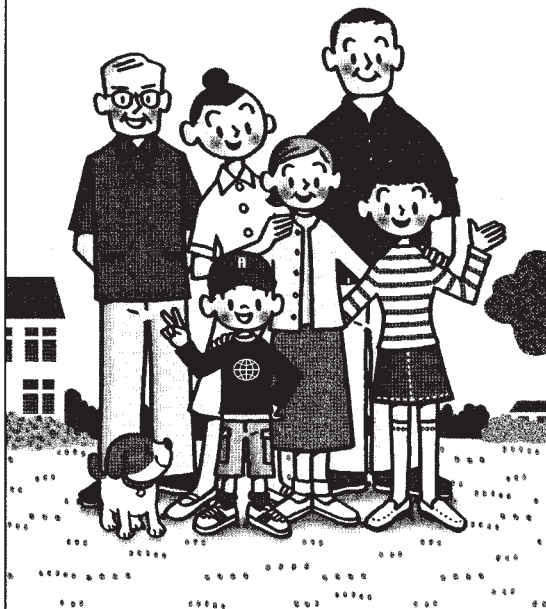
〒112-8088 東京都文京区小月川4-6-10

http://www.eisai.co.jp

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン

☎0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

ACL0903-4 2009年3月作成



薬価基準収載

Protection & Healing

しっかり守って、きれいに治す。

胃炎・胃潰瘍治療剤

指定医薬品

ムコスタ[®]錠100 顆粒20%

Mucosta[®] レバミピド製剤



製造販売元

大塚製薬株式会社

Otsuka 東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先

大塚製薬株式会社

信頼性保証本部 医薬情報センター

〒108-8242 東京都港区港南2-16-4

品川グランドセントラルタワー 13F

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】及び【用法・用量】

【効能・効果】	【用法・用量】
胃潰瘍	通常、成人には1回レバミピドとして100mg(ムコスタ錠100：1錠、ムコスタ顆粒20%：0.5g)を1日3回、朝、夕及び就寝前に経口投与する。
下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善 急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期	通常、成人には1回レバミピドとして100mg(ムコスタ錠100：1錠、ムコスタ顆粒20%：0.5g)を1日3回経口投与する。

【使用上の注意】—抜粋—

副作用

調査症例10,047例中54例(0.54%)に臨床検査値の異常を含む副作用が認められている。このうち65歳以上の高齢者3,035例では18例(0.59%)に副作用がみられた。副作用発現率、副作用の種類においても高齢者と非高齢者で差は認められなかった。(ムコスタ錠100の承認時及び再審査終了時)

以下の副作用には別途市販後に報告された自発報告を含む。

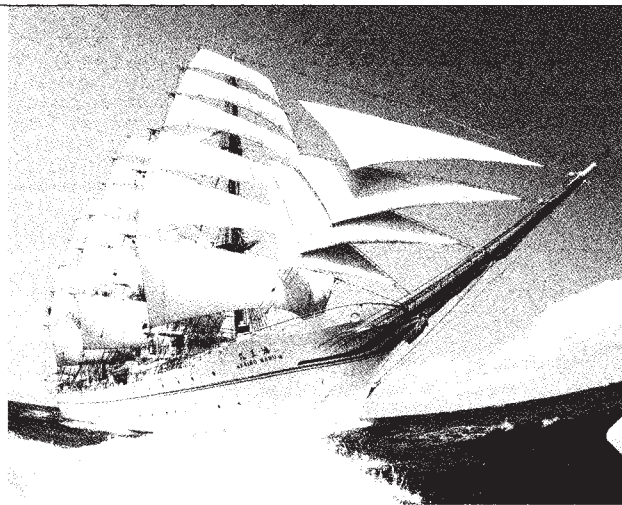
重大な副作用

1. ショック、アナフィラキシー様症状(頻度不明*)：ショック、アナフィラキシー様症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
2. 白血球減少(0.1%未満)、血小板減少(頻度不明*)：白血球減少、血小板減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
3. 肝機能障害(0.1%未満)、黄疸(頻度不明*)：AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、AI-Pの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

*：自発報告において認められた副作用のため頻度不明。

◇その他の使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。

(07.10作成)



新発売



骨粗鬆症治療剤

薬価基準収載

リカルボン錠 1mg

ミノドロソ酸水和物錠

RECALCON

劇薬、指定医薬品、処方せん医薬品^{*)}

注) 医師等の処方せんにより使用すること

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等、
詳細は製品添付文書をご参照ください。

資料請求先



小野薬品工業株式会社

〒541-8564 大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号

090401



GlaxoSmithKline

生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer

arixtra
fondaparinux

合成Xa阻害剤

薬価基準収載

処方せん医薬品 (注意—医師等の処方せんにより使用すること)

**アリクストラ® 皮下注1.5mg
皮下注2.5mg**

Arixtra® Injection フォンダパリヌクスナトリウム注射液

※「効能・効果」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・
用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「警告、禁忌を
含む使用上の注意」については添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)

グラクソ・スミスクライン 株式会社

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15

グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせは、資料請求先
TEL: 0120-861-007 (9:00-18:00) / 注目収容および当社休業日を除く
FAX: 0120-861-047 (24時間受付)

2009年6月作成



アレルギー性疾患治療剤

指定医薬品 処方せん医薬品 (注意-医師等の処方せんにより使用すること)

アレグラ[®]錠 30mg
60mg

フェキソフェナジン塩酸塩製剤 ●薬価基準収載

allegra[®]



© サンofi・アベンティス システム

★効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については、現品添付文書をご参照ください。

★資料は当社医薬情報担当者にご請求ください。

製造販売: **サノフィ・アベンティス株式会社**
〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

sanofi aventis
Because health matters

2008年12月作成 JP.FEX.08.12.09

Santen

抗リウマチ剤

処方せん医薬品
(注意-医師等の処方せんにより使用すること)

アザルフィジン[®]EN錠 500mg
250mg

サラソスルファピリジン腸溶錠

■〔効能・効果〕、〔用法・用量〕、〔禁忌を含む使用上の注意〕等については、添付文書をご参照下さい。

薬価基準収載

発売
参天製薬株式会社
大阪市東淀川区下新庄3-9-19
資料請求先 医薬事業部 医薬情報室

製造販売
Pfizer ファイザー株式会社
東京都渋谷区代々木3-22-7

抗リウマチ剤

日本薬局方 **ブシラミン錠**

劇薬、処方せん医薬品
(注意-医師等の処方せんにより使用すること)

リマチル[®]錠 100mg・50mg

■〔効能・効果〕、〔用法・用量〕、〔禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意〕等については、添付文書をご参照下さい。

薬価基準収載

製造販売元
参天製薬株式会社
大阪市東淀川区下新庄3-9-19
資料請求先 医薬事業部 医薬情報室



Together

抗リウマチ剤

薬価基準収載

劇薬、処方せん医薬品
(注意-医師等の処方せんにより使用すること)

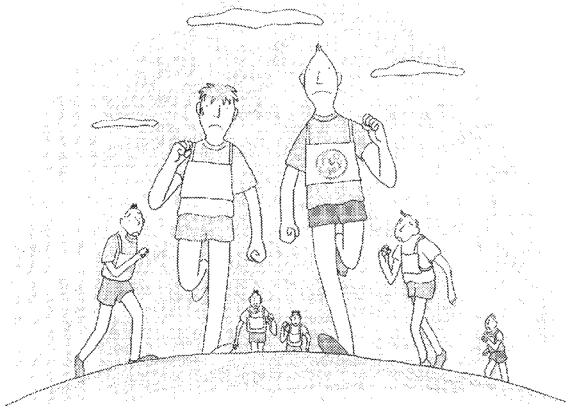
メトレート[®]錠 2mg

メトレキサート錠

■〔効能・効果〕、〔用法・用量〕、〔警告、禁忌を含む使用上の注意〕等については、添付文書をご参照下さい。

製造販売元
参天製薬株式会社
大阪市東淀川区下新庄3-9-19
資料請求先 医薬事業部 医薬情報室

2009年5月作成 ARM09EB52 BW



経口用セフェム系抗生物質製剤

指定医薬品，処方せん医薬品^(注1)

フロモックス[®]

錠 75mg・100mg
小児用細粒 100mg



日本薬局方 セフカベン ピボキシル塩酸塩錠／細粒 略号 CFPN-PI

注1) 注意－医師等の処方せんにより使用すること

■薬価基準収載

■「効能・効果」，「用法・用量」，「禁忌」，「原則禁忌」，「使用上の注意」等については添付文書等をご参照下さい。

2007年2月作成 1352 ©登録商標

製造販売元〔資料請求先〕



シオノギ製薬

大阪市中央区道修町3-1-8 〒541-0045
電話0120-956-734 (医薬情報センター)
<http://www.shionogi.co.jp/med/>



経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤

薬価基準収載

ロキソニン[®]
テープ 50mg
100mg

指定医薬品 ロキソプロフェンナトリウム水和物貼付剤

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む
使用上の注意等については
製品添付文書をご参照ください。

製造販売元



リードケイカル株式会社
富山県富山市日俣77-3

販売元(資料請求先)

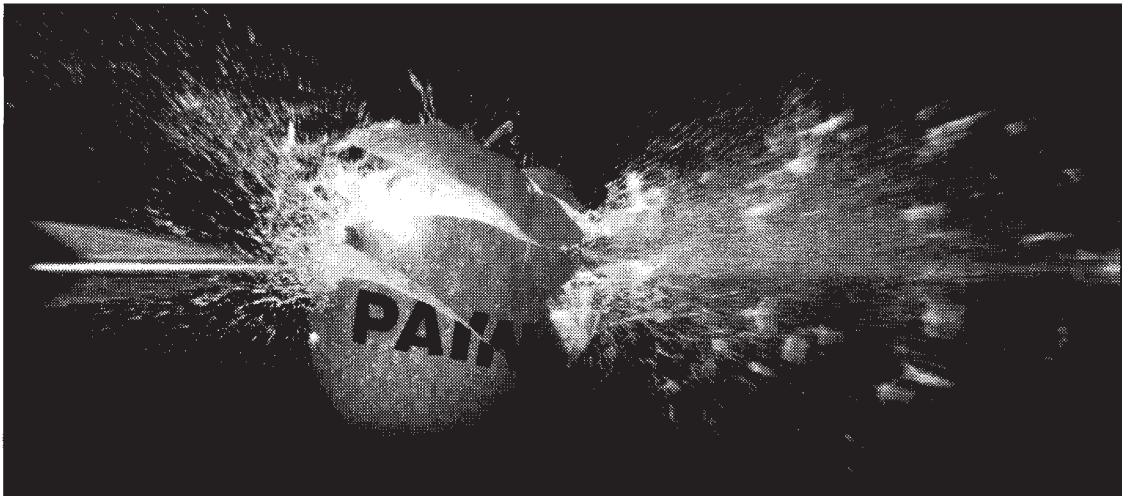


第一三共株式会社

Daiichi-Sankyo

東京都中央区日本橋本町3-5-1

0807 (0905)



劇薬・指定医薬品 / 非ステロイド性消炎・鎮痛剤

ロルカム錠 2mg 4mg

ロルノキシカム製剤 薬価基準収載

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」は添付文書をご参照ください。



発売【資料請求先】

大正富山医薬品株式会社
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1



製造販売

大正製薬株式会社
〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1

LC01852D 2005.04

 大日本住友製薬



経口プロスタグランジンE₁誘導体制剤 ————— 薬価基準収載

処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

プロレナル錠 5μg

PRORENAL® リマプロスト アルファデクス錠

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）

大日本住友製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉

くすり情報センター
☎0120-03-4389

受付時間 / 月～金 9:00～17:30 (例: 祭日を除く)
【医療情報サイト】<http://ds-pharma.jp/>



2009.6作成



抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

レミケード®点滴静注用100

REMICADE® for I.V. Infusion100

インフリキシマブ (遺伝子組換え) 製剤

生物由来製品 (医薬) 指定医薬品 (処方せん医薬品) (注意—医師等の処方せんにより使用すること)

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



製造販売元 (資料請求先)

田辺三菱製薬株式会社

大阪市中央区道修町3-2-10

2009年6月作成



骨粗鬆症治療剤
指定医薬品、処方せん医薬品¹⁾

薬価基準収載

エビスタ®錠 60mg

ラロキシフェン塩酸塩錠

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

EVISTA®

※ 「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等詳細については、添付文書をご参照ください。



販売 (資料請求先)



中外製薬株式会社
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1



ロシュ グループ

<http://www.chugai-pharm.co.jp>

製造販売元 (資料請求先)



日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号
<http://www.lillyanswers.jp>

2009年1月作成

2つのサイズの セルタッチパップ

経皮吸収型鎮痛消炎剤(無臭性)

【指定医薬品】

セルタッチパップ70 Seltouch Pap 70

フェルビナク貼付剤

薬価基準収載

経皮吸収型鎮痛消炎剤(無臭性)

【指定医薬品】

セルタッチパップ140 Seltouch Pap 140

フェルビナク貼付剤

薬価基準収載

禁忌：次の患者さんには使用しないでください。

1. 本剤又は他のフェルビナク製剤に対して過敏症の既往歴のある患者
2. アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者[喘息発作を誘発するおそれがある。]

【注意】「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元

帝國製薬株式会社
〒769-2601 香川県東かがわ市三本松567番地

Wyeth

発売元

〈資料請求先〉
ワイズ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号



販売

武田薬品工業株式会社
〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号

2008年6月作成



骨粗鬆症治療剤

薬価基準収載

ボナロン[®]錠35mg

Bonalon[®] Tablet 35mg

〈アレンドロン酸ナトリウム水和物錠〉

劇薬・指定医薬品・処方せん医薬品(注意一医師等の処方せんにより使用すること)

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元

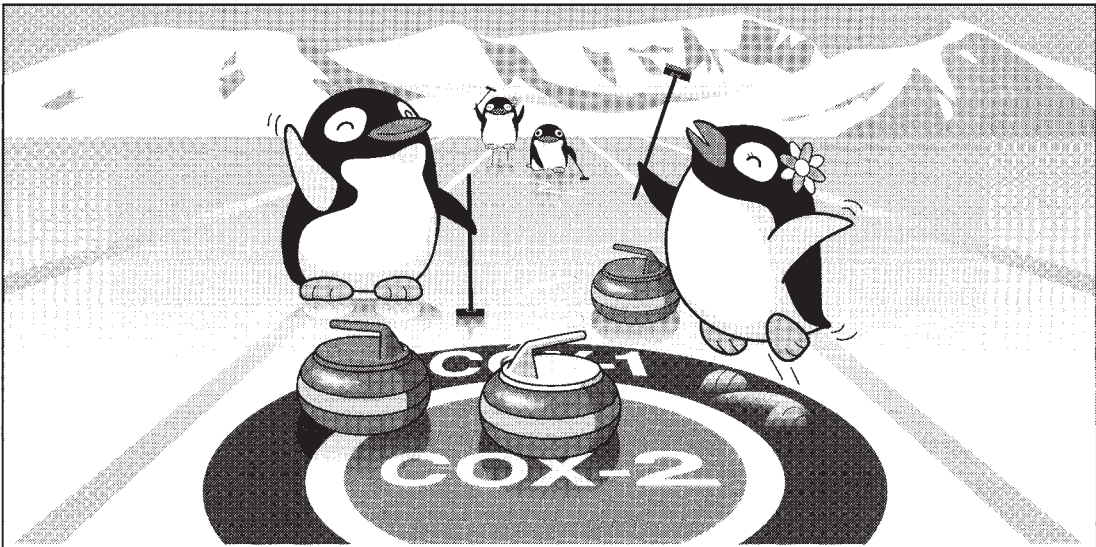
TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

資料請求先：学術情報部

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

商標 #ボロン/Bonalon[®] is the registered trademark of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, NJ, USA.

2008年6月作成
BNW095 (KK) 0806



非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤



ハイペン[®]錠 100mg
200mg
Hypen[®] 薬価基準収載

エトドラク製剤

劇薬

効能・効果、用法・用量
および禁忌を含む使用上の注意等は
添付文書をご覧ください。



製造販売元(資料請求先:学術部)

日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

2009年5月作成B5/2

**帯状疱疹後神経痛
腰痛症、頸肩腕症候群
肩関節周囲炎、変形性関節症の
長引く痛み、神経障害性疼痛に**

下行性疼痛抑制系賦活型
疼痛治療剤(非オピオイド、非シクロオキシゲナーゼ阻害)

ノイトロピン[®]錠4単位

ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液含有製剤
(薬価基準収載)

【効能・効果】

帯状疱疹後神経痛、腰痛症、頸肩腕症候群、
肩関節周囲炎、変形性関節症

【効能・効果に関連する使用上の注意】

帯状疱疹後神経痛に用いる場合は、帯状疱疹発症後6ヵ月以上経過した患者を対象
とすること。(帯状疱疹発症後6ヵ月未満の患者に対する効果は検証されていない。)

【用法・用量】

通常、成人には1日4錠を朝夕2回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【用法・用量に関連する使用上の注意】

帯状疱疹後神経痛に対しては、4週間で効果の認められない場合は漫然と投薬を続け
ないよう注意すること。

禁忌(次の患者には投与しないこと): 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

※「使用上の注意」などについては添付文書
をご参照ください。

ノイトロピン錠はNSAIDsとは異なる鎮痛機序、臨床特性を持ち、難治性疼痛治療薬の一つに位置づけられています。

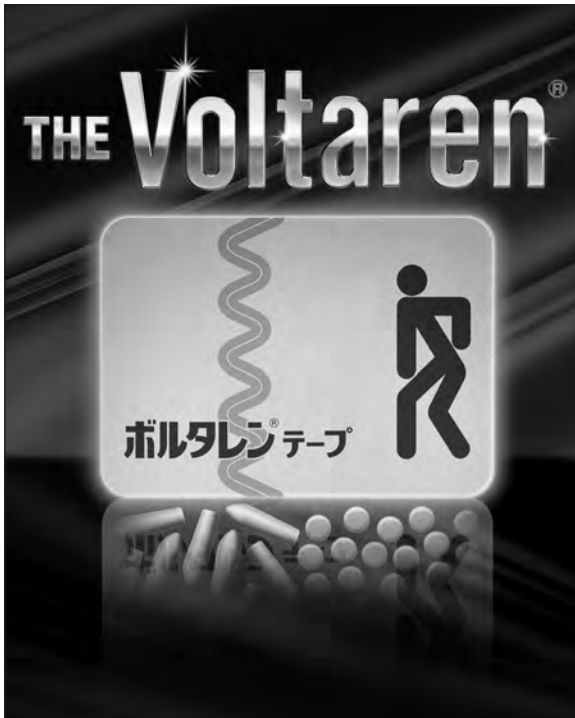


日本臓器製薬

資料請求先: 日本臓器製薬株式会社 学術部

〒541-0048 大阪市中央区平野町2丁目1番2号 ☎06-6203-0441

2009年6月作成



NOVARTIS

経皮鎮痛消炎剤

薬価基準収載

ボルタレン テープ 15mg
 テープ 30mg
指定医薬品
Voltaren Tape ジクロフェナクナトリウムテープ

販売 (資料請求先)
ノバルティス ファーマ株式会社
 〒106-8618 東京都港区西麻布4-17-30
 製造販売：同仁医薬化学株式会社

NOVARTIS DIRECT
 ☎ 0120-003-293
 受付時間：月～金 9:00～18:00
 www.voltaren.jp

● 禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意については、製品添付文書をご覧ください。

2008年7月作成



骨粗鬆症治療薬

フォサマック 錠 35mg

Fosamax[®] Tablets 35mg

アレンドロン酸ナトリウム 水和物 錠

＜薬価基準収載＞

製造販売元 [資料請求先]

万有製薬株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
 ホームページ <http://www.banyu.co.jp/>

【禁忌】、【効能・効果】、【用法・用量】、【使用上の注意】等については、
 製品添付文書をご参照ください。

Registered trademark of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A. 2008年7月作成 07-13-FSM-08-J-A09-J

MOHRUS TAPE L[®]



Hisamitsu

指定医薬品

経皮鎮痛消炎剤 ケトプロフェン貼付剤

〔薬価基準収載〕

モーラステープ L[®] 40mg

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照下さい。

製造販売元  **久光製薬株式会社** 〒841-0017 鳥栖市田代大官町408
資料請求先：学術部 〒100-6221 東京都千代田区丸の内1-11-1

2009年5月作成

 astellas





CELECOX[®]

非ステロイド性消炎・鎮痛剤 (COX-2選択的阻害剤) 〔薬価基準収載〕

セレコックス錠 100mg 200mg

セレコキシブ錠 劇薬、指定医薬品、処方せん医薬品 (注意—医師等の処方せんにより使用すること)

●「効能・効果」「用法・用量」「警告、禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売 **アステラス製薬株式会社**
東京都板橋区蒲根3-17-1

〔資料請求先〕 本社 / 東京都中央区日本橋本町2-3-11

販売提携 **ファイザー株式会社**

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

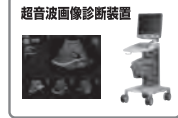
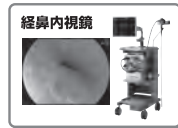
資料請求先：製品情報センター

09/4作成_B51/2.A.03

CELECOX[®]

FUJIFILM

先生の机の上から、クリニック内の 検査画像データを統合管理。



富士フィルムのネットワーク
医用サービスにご契約いた
だくことで、データセンターへ
の各種画像データのバック
アップや遠隔読影、イン
フォームド・コンセントツールな
ど、最新の医用サービスがご
利用いただけます。



カンタン・高画質の FCR CAPSULA-2。

- 高画質・一体型多機能搭載ワークステーション
 - 従来の2.3倍の処理能力(大角で94枚/時)
 - クラス最小※(設置面積0.22㎡)
 - 小型CRシエアNo.1※。20,000台以上の導入実績
- ※ 2008年8月現在



デジタルX線画像読取装置
FCR CAPSULA-2
&
多機能ワークステーション
FCR CAPSULA VIEW

FCR CAPSULA-2(販売名:富士コンピューテッドラジオグラフィ CR-R 356型) 医療機器認証番号 第 218ABBZX00124000 号
FCR CAPSULA VIEW(販売名:富士コンピューテッドラジオグラフィ CR-R 355型の画像処理ユニット) 医療機器認証番号 第 218ABBZX00123000 号

製造販売業者 富士フィルム株式会社 お問い合わせ先 販売業者 富士フィルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム西麻布ビル
TEL:03-6419-8033(代) URL:http://fms.fujifilm.co.jp

フルルビプロフェン貼付剤



経皮吸収型鎮痛・消炎剤 薬価基準収載

ZEPOLAS® PAPP 40mg

ゼポラス® パップ® 40mg

指定医薬品 | フルルビプロフェン貼付剤

製造販売元 (資料請求先)
三笠製薬株式会社
〒176-8585
東京都練馬区豊玉北2-3-1
<http://www.mikasaseiyaku.co.jp/>



●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。